

Smart Professional Surveillance System
システムユーザーズマニュアル

1



Ver.1.01

目次

概要と環境	5
概要 5	
SmartPSS インターフェイス.....	5
1. インストール	7
2. ログイン	9
3. デバイス	10
3.1 自動検索	10
3.2 手動追加	11
3.3 インポートとデバイスの追加	13
3.4 IP 変更	13
4.ライブビュー	16
4.1 ライブビュー.....	16
4.2 E-Map.....	22
4.2.1 新規マップ	22
3.2.2 新しいホットゾーン	24
5. IVS チャンネル構成	25
5.1 PTZ.....	28
5.1.1 プリセット	30
5.1.2 ツアー	30
5.1.3 スキャン	31
5.1.4 パターン	32

5.2 魚眼レンズビューモード	32
6. ツアー & タスク	34
7. 再生	38
7.1 再生	38
7.2 録画再生	41
7.3 録画のエキスポート	41
7.4 デバイスピクチャ再生	43
7.5 デバイスピクチャーエキスポート	44
7.6 ローカル録画再生	45
7.7 ローカル録画エキスポート	45
7.8 ローカルピクチャ再生	47
8. ログ検索	48
8.1 クライアントログ検索	48
8.2 デバイスログ検索	48
9. システム設定	50
10. ユーザー	53
10.1 役割情報	53
10.2 ユーザー	54
11. デバイス設定	57
12. イベント設定	61

12.1 イベントタイプ	61
12.2 イベントアラームリンク設定	63
12.2.1 リンクの通知	63
12.2.2 リンクビデオ	64
12.2.3 アラーム出力	66
12.2.4 防護時間	67
12.3 イベントビュー	68
13.人数カウント	69
14.ヒートマップ	72
15.PC-NVR	73
15.1 ディスクマネージャー	73
15.2 チャンネルマネージメント	74
15.3 録画プラン	75
16.バージョン情報	76
16.1 ポート変更	76
16.2 パスワード変更	77

概要と環境

概要

SmartPSS は、Smart Professional Surveillance System の略です。

このソフトウェアは、複数のセキュリティ監視デバイスを管理することができます。

注：他メーカーの製品はサポートしていません。

PSS の特徴：

- カメラチャンネルのリアルタイムビデオを表示します。
- さまざまなカメラからの再生ビデオファイルを表示します。
- 複数のスケジュールされたアラームをサポートします。
- Emap; すべてのデバイスの位置を明確に表示および管理できます。
- ビデオウォールプレビュー機能。
- 人数とヒートマップ機能。
- ログを検索してエクスポートします。

SmartPSS インターフェイス

SmartPSS ソフトウェアインターフェイスには、タブ機能、システム情報、機能リスト、ショートカット、およびヘルプの 5 つの部分が含まれています。図 1-1 を参照してください。

5



図 1-1

No.	名称	内容
1	追加	 をクリックすると新しいタブを開くことができます
2	ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー切り替え  ● スクリーンロック  ● コンフィグ  ● ヘルプ  ● 小画面  ● 大画面  ● 閉じる 
3	システム情報	システム時刻  16:24:54 CPU、メモリ情報 
4	ショートカット	イベントタブショートカット 
5	機能リスト	プレビュー、再生、イベント、ビデオウォール、人数、ログ、イベント設定、デバイスマネージャー、デバイス設定、PC-NVR、ツアープラン、ユーザーとヒートマップを含みます。

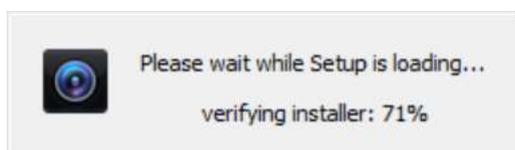
1. インストール

SmartPSS 推奨 PC スペック。

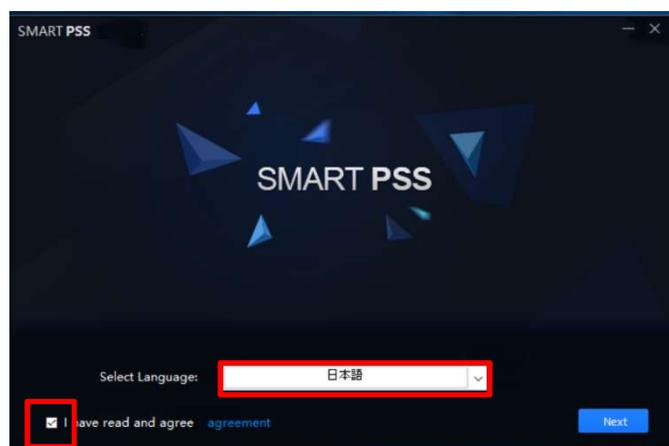
名	仕様
OS	Windows 7 以上
CPU	Intel Core i5 以上
ディスプレイカード	Intel HD Graphics 以上
メモリー	4GB 以上
ディスプレイ解像度	1024×768 以上

Step1. NSK ホームページより SmartPSS.zip をダウンロードしてください。

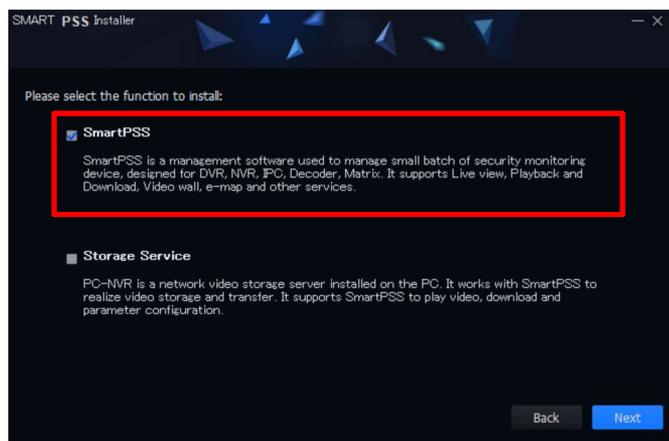
Step2. Zip ファイルを解凍して、.exe ファイルをクリックしてください。インストールが始まります。



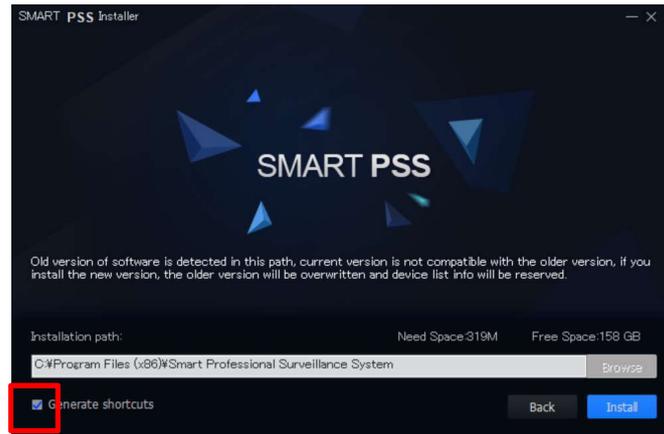
Step3. 日本語を選択し、左下のチェックボックスにチェックを入れて Next。



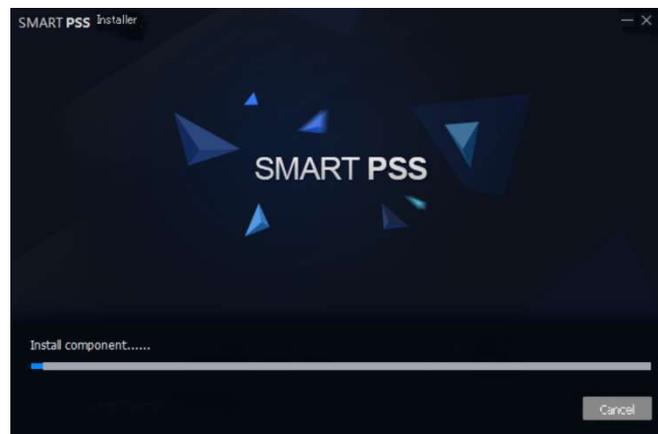
Step4. 上の SmartPSS のチェックボックスをチェックして Next。



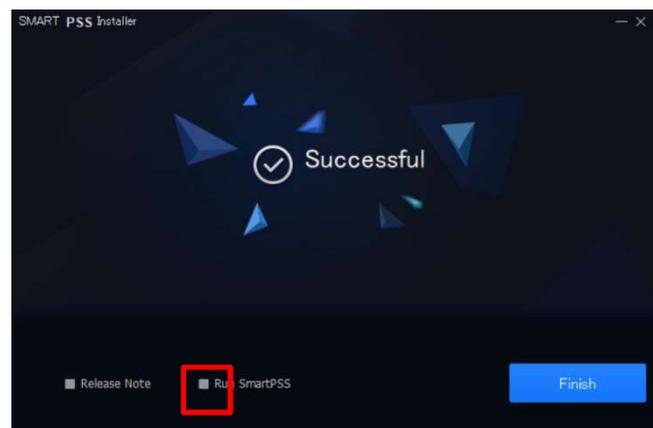
Step5.左下チェックボックスをチェックして Install。



Step6.Install が開始します。



Step7.Install が終了すると Successful と表示されます。左下の RunSmartPSS にチェックしてください。



2. ログイン

Steps

Step 1.  をダブルクリックすると図 2-1 の画面が開きます。

Note:

デフォルトのユーザ名は、パスワード無しの admin です。初回ログイン時にパスワードを設定してください。



図 2-1

Step 2. ユーザー名とパスワードを入力してログインをクリックします。

- パスワードを保存にチェックすると、次回ログイン時にパスワードを再入力する必要はありません。
- パスワードを保存とオートログインの両方をチェックすると、次回ログイン時にオートログインします。

3. デバイス

自動検索でデバイスを追加できます。また、デバイスを手動で設定して操作することもできます。

3.1 自動検索

Step 1. [自動検索]をクリックします。

Step 2. デバイスセグメントを設定し、[検索]をクリックします。図 3-1 を参照してください。

Note:

- [再読込]をクリックすると、検索したデバイスが最新表示されます。
- デバイスの IP をチェックする。
- 変更するデバイスを確認し、[IP 変更] をクリックして変更します。3.4 章を参照してください。

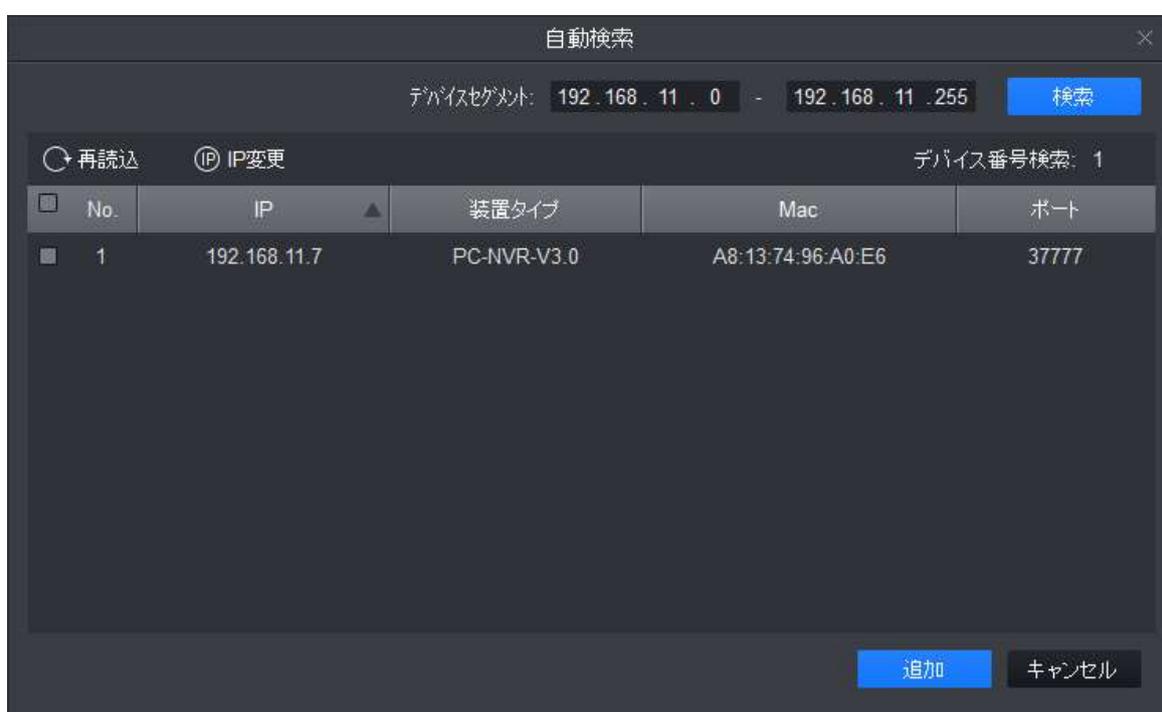


図 3-1

Step 3. 追加するデバイスを確認し、[追加]をクリックします。

Step 4. [OK]をクリックするとログインボックスが表示されます。

Step 5. デバイスのユーザー名とパスワードを入力します。[OK]をクリックします。デバイスを追加したらキャンセルをクリックして、デバイスが追加されたことを確認します。図 3-2 を参照してください。

- デバイスを追加すると、デバイス名、IP /ドメイン、タイプ、モデル、ポート、チャンネル番号、オンライン状態、SN、およびデバイスを表示できます。
- デバイスが追加された後、デバイスには自動的に装置タイプが表示されます。
 - ✧  デバイス情報を変更します。
 - ✧  デバイスの設定ページに移動します。
 - ✧  デバイスを終了します。

- ◇ デバイスを選択し[削除]をクリックしてデバイスを一括削除するか、削除するデバイスの  をクリックします。



図 3-2

3.2 手動追加

Step 1. デバイスインターフェイスで、[追加] をクリックします（図 3-3 を参照）。

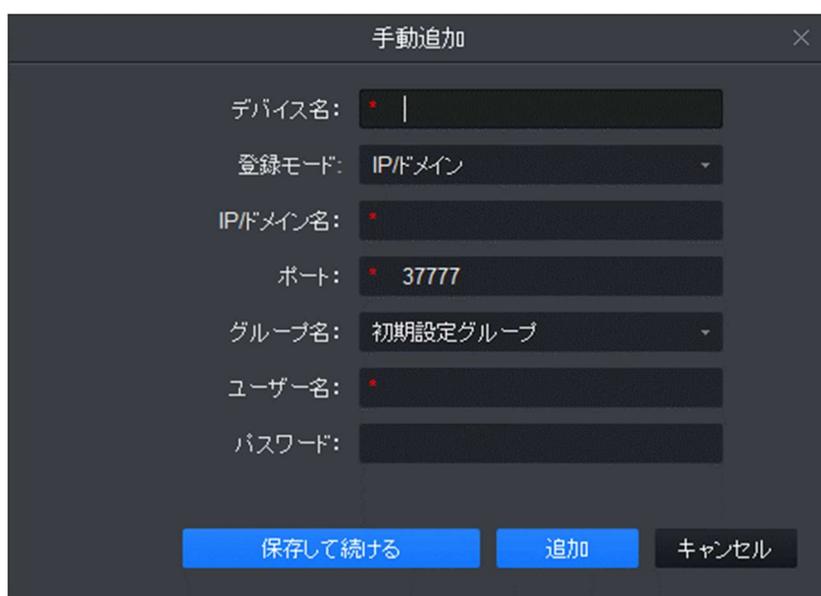


図 3-3

Step 2. デバイスパラメータを設定します。次の図を参照してください。

名称	機能
デバイス名	デバイス名を入力してください。
登録モード	IP/ドメイン、シリアルナンバー。
IP/Domain 名	IP アドレスかドメイン名 Note:IPV6 アドレスのデバイスを追加することができます。
SN	シリアルナンバー:P2P 対応デバイスのみ
ポート	ポートナンバー：初期値は 37777
グループ名	1 つのグループを選択できます。
ユーザー名	デバイスにログインしたユーザー名。
パスワード	デバイスにログインするパスワード。

Step 3. [追加]をクリックしてデバイスの追加を完了します。

[保存して続ける]をクリックしてデバイスを連続して追加することもできます。

3.3 インポートとデバイスの追加

※インポートの前に、デバイス情報を取得する必要があります。

デバイス情報をバックアップしてデバイス情報ファイルを取得することができます。

Step 1. [デバイス]で、[インポート]をクリックします。図 3-4 を参照してください。



図 3-4

Step 2. インポート方法を選択してください。

- [ローカル]タブを選択してローカルパスを指定します。
- www.easy4ip.com : 使用しません。

Step 3. 「インポート」をクリックします。デバイスが正常にインポートされると、システムにメッセージが表示されます。

Step 4. [OK]をクリックします。

3.4 IP 変更

Step 1. デバイスインターフェイスで、[検索] をクリックします。

Step 2. デバイスセグメントを設定し、[検索]をクリックします。図 3-5 を参照してください。



図 3-5

Step 3. IP を変更するデバイスを選択し、IP 変更をクリックします。

Step 4. ユーザー名とパスワードを入力します。[OK]をクリックします。

- デバイスをチェックし IP 変更をクリックする。(図 3-6 を参照)。



図 3-6

- 複数のデバイスを選択すると、[IP 変更]ボックスがポップアップ表示されます (図 3-7 を参照)。

デバイスIPの一括変更

4デバイスを選択されています!

始点IP *

サブネットマスク *

ゲートウェイ *

保存 キャンセル

図 3-7

Step 5. デバイスの始点 IP、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する。

Step 6. [保存] をクリック。

4. ライブビュー

4.1 ライブビュー

インスタント再生、ビデオのズーム、ストリームの切り替え、デバイスパラメータの設定、インテリジェントなチャンネルの設定、チャンネル情報の更新などをライブで見ることができます。

[新規]タブで、[ライブビュー]をクリックします（図 4-1 を参照）。

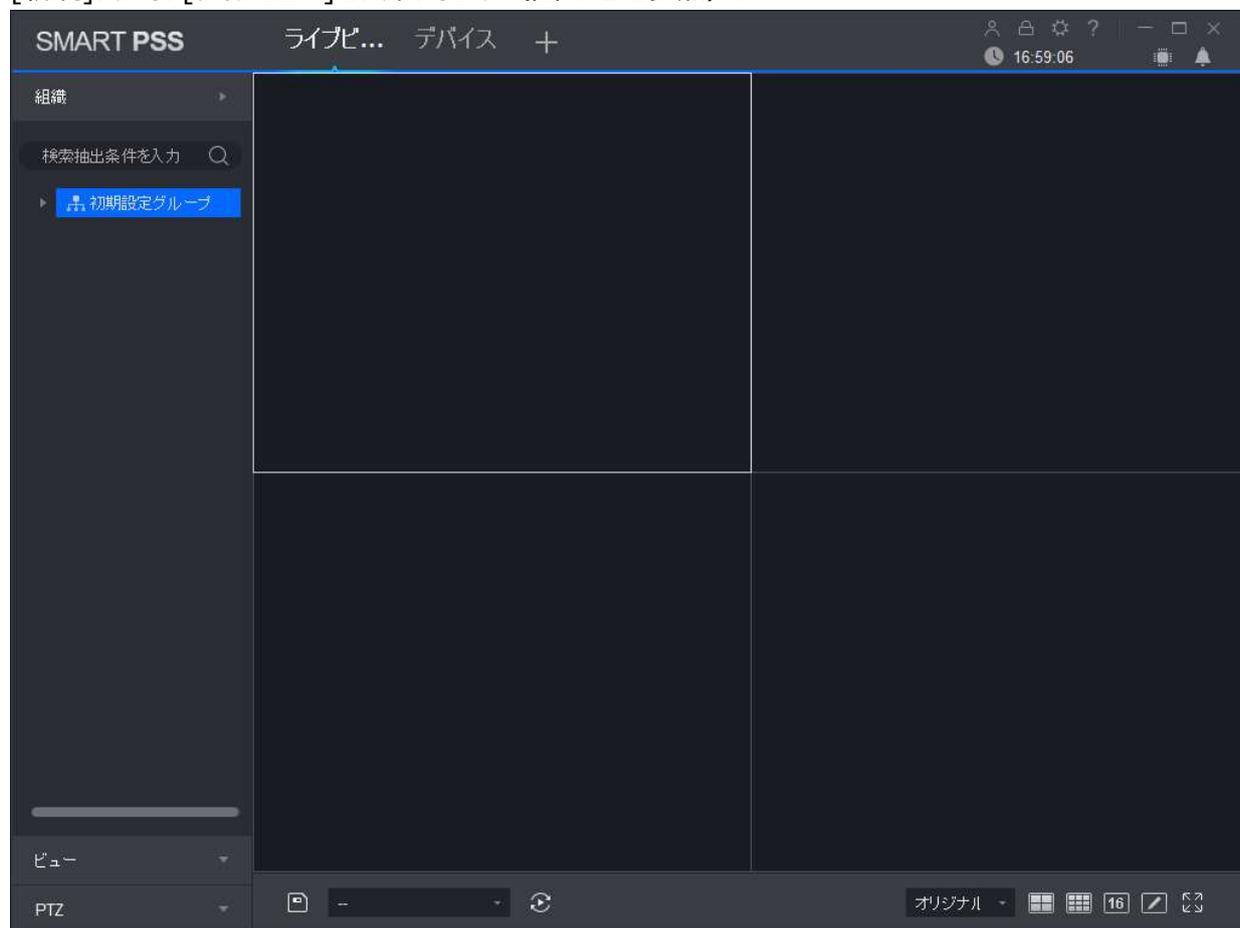


図 4-1

No.	Task	Note
1	デバイスリスト	ストリーム切り替え、デバイスグループを作成、新しいマップを作成、チャンネル情報を更新、チャンネル名を変更、ログオフ、デバイスにログインできます。 <ul style="list-style-type: none">● デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー（デバイス単位）に設定されると、デバイスツリーにデバイスのグループ化とチャンネルが表示されます。● デフォルトデバイスツリーがエリアツリー（チャンネル別）に設定されている場合、デバイスツリーにはゾーンとチャンネルが表示されます。

No	Task	Note
	ストリーム変更	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ/デバイスまたはエリアを右クリックし、メインストリームまたはサブストリームを選択します。 ● プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択し、右クリックして[ストリームタイプ]> [メインストリーム]、[サブストリーム]を選択します。 <p>Note:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メインストリームとサブストリームの両方を同じチャンネルで同時にプレビューできます。
	新しいグループ	<p>デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合は、組織ツリーのグループを右クリックし[新しいグループ]を選択し、[新しいグループ]ボックスにグループ名を設定し、[保存]をクリックしてデバイスグループを作成します。</p> <p>Note:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 複数のグループを連続して作成する必要がある場合は、グループ名を設定し、[保存して続行]をクリックします。 ● 新しいグループを右クリックすると、グループの名前を変更または削除できます。 ● グループを削除できるのは、デバイスなしの場合のみです。 ※グループ内にデバイスがある場合は削除できません。
	新規マップ	<ul style="list-style-type: none"> ● デフォルトのデバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合は、組織ツリーエリアでグループを右クリックし新規マップを選択して作成します。 ● マップを追加したらマップまたはヒートマップを右クリックして、マップまたはホットスポットを編集、名前変更、削除することができます。 ● E マップは、プレビューされたデバイスのリストに直接表示することができます、プレビューウィンドウに直接ドラッグすることができます。 ● 新規マップを作成する方法については、4.2 章を参照してください。

No	Task	Note
	デバイス設定	デバイスを右クリックし、[デバイス設定] を選択します。デバイス設定ページが表示されます。デバイスを構成する方法の詳細は、第 10 章を参照してください。
	チャンネルプレビュー0	デバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合は、NVR デバイスを右クリックしチャンネルプレビュー 0 を選択します。
	チャンネルを表示する	ストレージデバイスを右クリックし、[チャンネルを表示する]> [連結チャンネルを見る]または[すべてのチャンネルを見る]を選択してチャンネル表示モードを切り替えます。
	チャンネル名を変更する	ストレージデバイスの下のデバイスチャンネルを右クリックし、[チャンネル名を変更する] を選択します。
	IVS チャンネル設定	デバイスを右クリックし、IVS チャンネル設定を選択してインターフェイスにジャンプします。 第 4.4 章を参照してください。4.4.
	アラーム出力	デバイスを右クリックしてアラーム出力を選択し、アラーム出力チャンネルをオンまたはオフにします。
	スマートトラック配列	デバイスを右クリックし、[スマートトラック配列]を選択してインターフェイスにジャンプします。第 4.4 章を参照してください。
	リフレッシュ	デバイスを右クリックして[リフレッシュ]を選択して、チャンネル名またはチャンネル番号の変更を更新します。
	ログアウト&ログイン	デバイスを右クリックして [ログアウト] を選択します。ソフトウェアとデバイスの接続が解除されます。ログアウト後デバイスを右クリックして、[ログイン]を選択すると再接続します。
	ビュー	表示の横に  があるときは、表示インターフェイスを開きます。
	新しいグループ	表示の横に  があるときはビューインターフェイスを開きます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 複数のグループを連続して作成する必要がある場合は、グループ名を設定し、[保存して続ける]をクリックします。 ● 新しいグループを右クリックしたり、名前を変更したり、グループを削除したりできます。 ● 表示のないグループのみ削除できます。

No	Task	Note
	グループ名の変更	ビュー名を右クリックし、[グループ名の変更]を選択します。
	グループ削除	ビュー名を右クリックし、[グループ削除]を選択します。
	グループに移動	ビュー名を右クリックし、「グループに移動」を選択し、移動先のグループを選択します。
	再生	ビュー名を右クリックし、再生を選択して再生インターフェイスに入ります。6章を参照のこと。
	PTZ	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動ズームの場合、フォーカス、オートフォーカス、フォーカスをリセットできます。 ● PTZ 設定では、マウスのシミュレーション、PTZ メニューの開閉、PTZ の速度、方向、ズーム、フォーカスアイリスの調整ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ [その他の機能]をクリックして、プリセット、ツアー、水平回転、スキャン、トラック、およびアクセシビリティを設定します。第 4.6 節を参照のこと。
2	ストリーム情報	ライブウィンドウを選択すると、ステータスバーにリアルタイムのストリーム情報が表示されます。
	ローカル録画	<p>プレビュービデオウィンドウを選択し、 をクリックするか、右クリックして[録画開始]を選択します。</p> <p>Note: 保存されたパスは、システム設定>ファイルパスで変更できます。</p>
	スナップショット	<p>プレビュービデオウィンドウを選択し、 をクリックするか右クリックして[画像キャプチャ]を選択し、画像をスナップショットします。</p> <p>Note: 保存されたパスは、システム設定>ファイルパスで変更できます。</p>
	トリプルスナップショット	プレビュービデオウィンドウを選択し、トリプルスナップショットを右クリックして、連続して 3 枚の画像をスナップショットします。
	オーディオ	プレビュービデオウィンドウを選択し、  をクリックするか右クリックして [音声開始] を選択します
	音声通話	プレビュービデオウィンドウを選択し、  をクリックするか右クリックして「通話開始」を選択すると、クライアントとデバイス間で話すことができます。
	リモートインターコム	右クリックしてリモートインターコムをオンにすると、クライアント上のリモートチャンネルとストレージデバイス間で会話することができます。

No	Task	Note
	インスタント再生開始	プレビュービデオウィンドウを選択し、  をクリックするか右クリックしてインスタント再生開始を選択します。
	ズームイン	プレビュービデオウィンドウを選択し、  をクリックします。
	ビデオを閉じる	プレビュービデオウィンドウを選択し、  をクリックするか右クリックして [ビデオを閉じる] を選択します。
	全てのビデオを閉じる	プレビュービデオウィンドウを選択し、右クリックして[すべてのビデオを閉じる]を選択します。
3	ライブプレビュー	組織ツリーでデバイスをダブルクリックするか、デバイスをビデオウィンドウにドラッグしてライブプレビューを表示します。
	再生	プレビュービデオウィンドウを選択し、「再生」を右クリックして再生インターフェイスに入ります。6章を参照のこと。
	魚眼貼り付けモード	魚眼カメラ（360°）対応デバイスのみ表示されます。 プレビュービデオウィンドウを選択し、右クリックして魚眼貼り付けモードを選択しデバイスの実際の設置方法に従って選択します。  (天井),  (壁面)  (平置き)
	魚眼視点	魚眼カメラ（360°）の場合のみ。 プレビュービデオウィンドウを選択し、右クリックして魚眼指定を選択し目的のビューモードを選択します。 ビューモードは、魚眼レンズの設置モードによって異なります。4.7を参照してください。
	マルチスクリーンラック	分割画面トラッキングには、通常モード、1 + 3 モード、および 1 + 5 モードの 3 つのモードが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 通常モード ● 1 + 3 mode: 通常モード + 3 サブウィンドウ 3 サブウィンドウのポジションを指定 ● 1 + 5 mode: 通常モード + 5 サブウィンドウ 5 サブウィンドウのポジションを指定
	画像調整	クライアントの画面プレビュー効果を調整するために使用され、デバイスの実際のイメージパラメータは変更されません。 ビデオ画面の明るさ、コントラスト、彩度、色相を調整することができます。

No	Task	Note
.	IVS ルール	インテリジェントルールやインテリジェントオブジェクトボックスをビデオ画面に表示する。 プレビュービデオウィンドウを選択し、インテリジェントオーバーレイ>インテリジェントルールまたはインテリジェントオブジェクトボックスを右クリックします
4	ビューの保存	<ul style="list-style-type: none"> ●  をクリックして、現在のプレビュービデオウィンドウをビューとして保存します。プレビュー、再生、ツアーのインターフェイスで即座に見ることができます。 ● ラウンドロビンスケジュールを作成した後、 をクリックして、ツアー計画に保存をチェックするか、ビューをツアープランに保存することもできます。5章を参照して下さい。
	ツアーを開始する	ツアープランを作成した後、  でツアープランを選択して  をクリックするとツアーを有効にすることができます。5章を参照して下さい。
5	ウィンドウスケール	ビデオの縦横比は2通りの方法で設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオウィンドウを選択し、右クリックしてウィンドウスケールを選択しビデオ画面の表示比を選択します。 ● 選択ビデオ画面の表示率。
	ビデオウィンドウ表示モード	<ul style="list-style-type: none"> ●  をクリックします。アイコンでビデオウィンドウは、対応するウィンドウ表示モード数に設定されます。 ●  をクリックします。ポップアップインターフェイスで、ビデオウィンドウの表示モードをカスタマイズします。 <ul style="list-style-type: none"> ■ カスタム分割領域で、カスタムビデオウィンドウの表示モード  をクリックします。 ■ ビデオウィンドウをクリックまたは選択し、 フルスクリーンを選択しビデオウィンドウのフルスクリーン表示を選択します。

4.2 E-Map

E-map を使用すると、ビデオチャンネルまたはアラームチャンネルとライブプレビューの場所をすぐに知ることができます。

4.2.1 新規マップ

Step 1. 組織ツリーでグループを右クリックし、[新規マップ]を選択します。図 4-2 を参照してください。

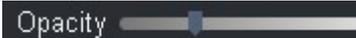


図 4-2

Step 2. マップ名を設定し、画像のパスを選択します。

Step 3. [保存]をクリックします。図 4-3 を参照してください。

Note:

-  地図上に新しいホットゾーンを作成します（4.2.2 節参照）。
-  マップ名を変更するか、マップを置き換えます。
-  透明度を調整します。
- 地図の航空写真を見ることができます。  をクリックすると空中像を閉じ、  をクリックすると空中像が表示されます。

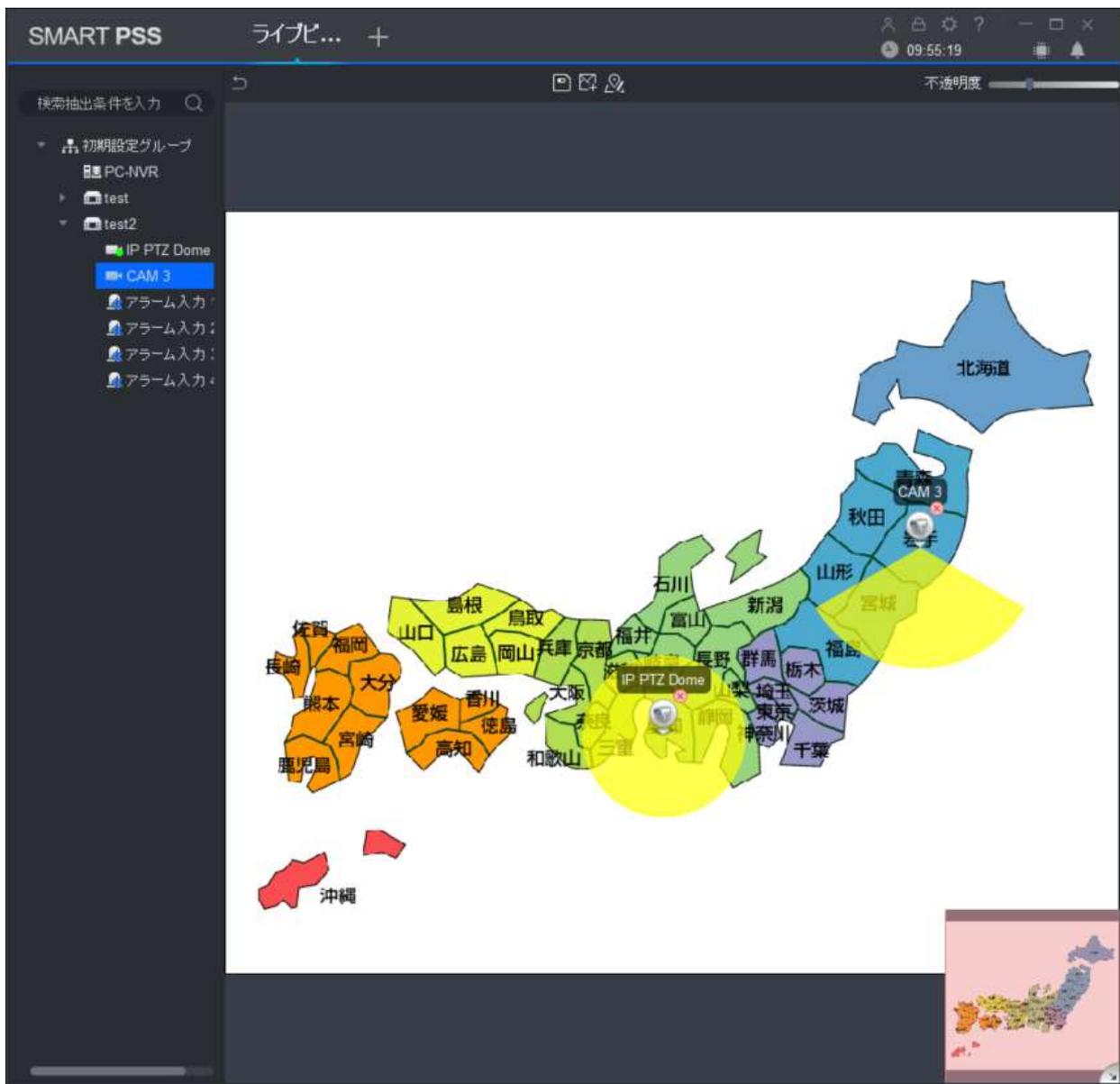


図 4-3

Step 4. カメラのモニター範囲を調整するには、マップ上の対応するモニター位置にカメラをドラッグするかカメラアラーム入力をマップにドラッグします。

Step 5.  をクリックでマップを保存します。

Step 6. 地図上にデバイスのライブプレビューを表示します。

- a) マップ上でカメラをクリックするか、カメラ上にマウスを数秒間置くとポップアップウィンドウにライブプレビューが表示されます。

Note:

- マッププレビューウィンドウを右クリックして[すべてのチャンネルを開く]を選択すると、プレビューウィンドウの下部にすべてのデバイスのライブが表示されます。
- マップ上のプレビューウィンドウをクリックしてビデオウォールを右クリックし、ポップアップウィンドウにすべてのデバイスのライブを表示します。

3.2.2 新しいホットゾーン

ホットゾーンの場合は、マップに対応する画像を追加できます。

Step 1. e-map インターフェイスで  をクリックします。図 4-4 を参照してください。

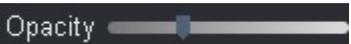


図 4-4

Step 2. マップ名を設定し、画像パスを選択します。

Step 3. [保存]をクリックします。図 4-5 を参照してください。

Note:

-  新しいゾーンを作成する。
-  ヒートマップ名を変更するか、ヒートマップを置き換えます。
-  Opacity カメラのモニター範囲の不透明度を調整します。
- 地図の航空写真を見ることができます。  をクリックすると空中像を閉じ、  をクリックすると空中像が表示されます。
- 左下隅にある画像ウィンドウをクリックして、前のヒートゾーンまたはマップに戻ります。

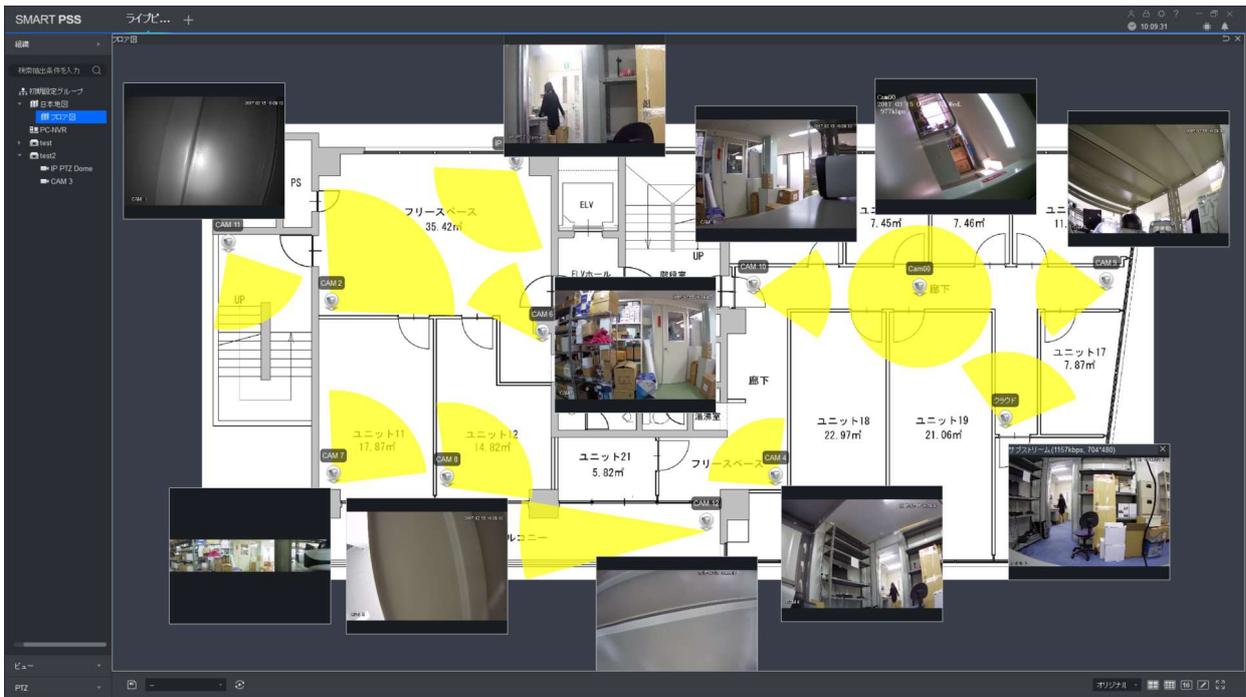


図 4-5

Step 4. ヒートマップをダブルクリックしマップ上の対応するモニター位置にカメラをドラッグして、カメラモニター範囲を調整します。

Step 5.  ヒートマップを保存します。

Step 6. 地図上にデバイスのライブプレビューを表示します。

- c) ライブプレビューインターフェイスを開き、デバイスリストでヒートマップをダブルクリックするか、ヒートマップをプレビューウィンドウにドラッグします。

Note:

ヒートマッププレビューウィンドウのステータスバーで、 をクリックしてマッププレビューに戻ります。

- d) 地図上でカメラをクリックするか、カメラ上にマウスを数秒間置くと、ポップアップウィンドウにライブプレビューが表示されます。

Note:

- マッププレビューウィンドウで右クリック、[すべてのチャンネルを開く]を選択するとプレビューウィンドウにすべてのデバイスのライブが表示されます。
- マップ上のプレビューウィンドウで右クリック、ビデオウォールを選択するとポップアップウィンドウにすべてのデバイスのライブを表示します。

5. IVS チャンネル構成

IVS チャンネルを設定することにより、IVS のフィールドをマークすることができます。

※カメラによっては対応可能、対応不可能があります。

Step 1. ライブレビューインターフェイスの組織ツリーでデバイスを右クリックし、[IVS チャンネル設定]を選択します。図 4-6 を参照してください。

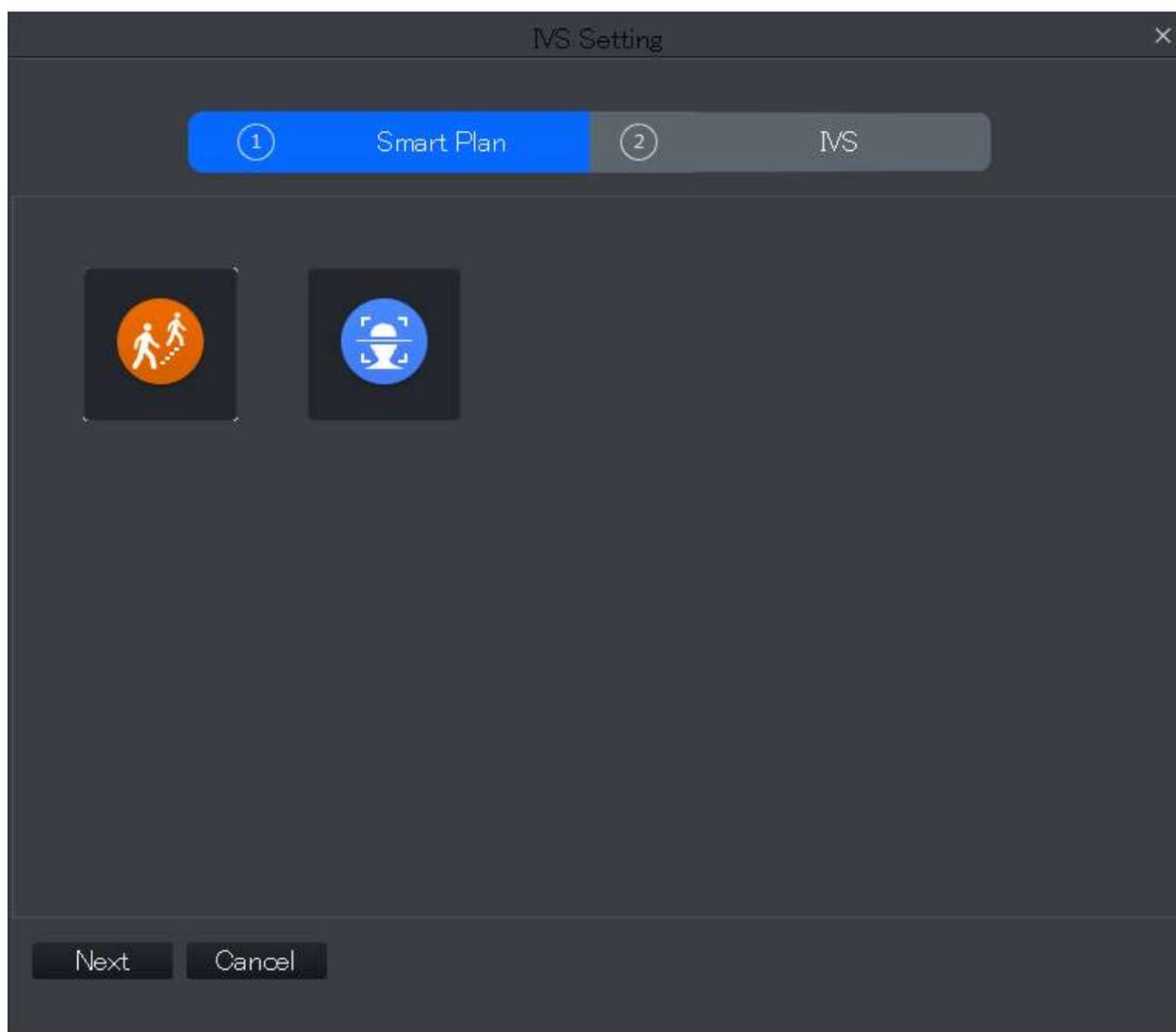
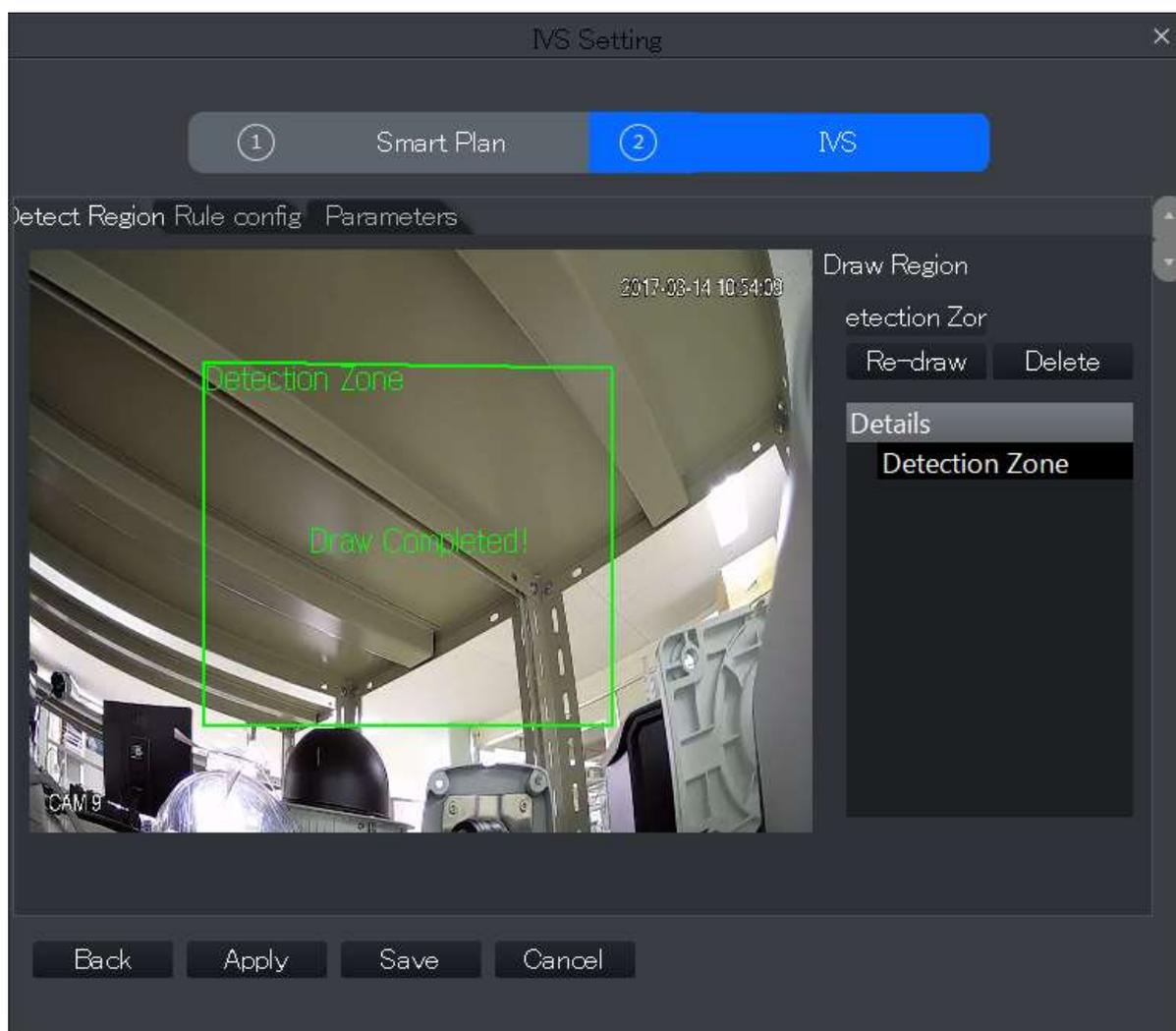


図 4-6

Step 2. 強調表示された IVS スケジュールをクリックして IVS を設定します。

Step 3. [Next]をクリックします。図 4-7 を参照してください。



27

図 4-7

Step 4. フィールドをマークします。

- a) ビデオウィンドウの [Re-draw] をクリックしてマーク領域を描画し右クリックして描画を完了します。
マークエリアを描くには少なくとも 3 ポイントが必要です。

Step 6. [保存]をクリックします。

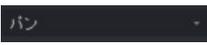
5.1 PTZ

PTZ は機器の種類に応じて異なるセットアップインターフェースとなります。次の図および図表を参照してください。



図 4-14

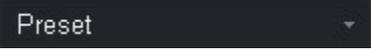
パラメーター	Note
メニュー	 PTZ メニュー
マウス操作	 マウスで PTZ を操作します。
方向	PTZ の方向を操作します。
3D ポジション	 ビデオ監視でボックスを描画すると、PTZ はこのシーンにフォーカスします。
速度	1 から 8 の速度を設定することができます。
ズーム	 or  ズーム調整
フォーカス	 or  フォーカス調整
アイリス	 or  アイリス調整
プリセット	プリセットを設定すると、カメラに対応するプリセット位置にすばやく移動できます。プリセット設定詳細は、4.6.1 を参照してください。 Note: 最大 128 のプリセットを設定できます。
ツアー	ツアーを設定することで、カメラは異なるプリセットポイント間をツアーすることができます。ツアー設定の詳細は、4.6.2 節を参照してください。Note: 最大 8 つのクルーズグループを設定できます。

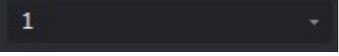
パラメーター	Note
パン	パンを設定すると、カメラを水平に回転させることができます。  パンを選択してクリックし、  水平回転をオンにします。
スキャン	2つの境界を設定することにより、カメラは2つの境界の間を繰り返し回転します。スキャン設定詳細は、4.6.3を参照してください。
パターン	パターンを設定することにより、カメラの動作中のユーザーの操作が記録されます。記録された内容に従ってカメラは動作します。パトロールの軌道設定の詳細は、4.6.4節を参照してください。
AUX（予備端子）	AUXを使用すると、AUXコマンドを入力してAuxポイントをオンにすることができます。

5.1.1 プリセット

プリセットポイントを設定すると、カメラに対応するプリセット位置にすばやく移動できます。

Step 1. 方向機能を使用して、カメラを指定された位置に動かします。

Step 2.  プリセットを選択し、 をクリックします。

Step 3.  プリセット番号を選択し、プリセット名を入力します。

Step 4.  プリセットを保存します。

Step 5.  不要なプリセットを削除します。

Step 6. プリセットを選択して  をクリックすると、カメラは対応する位置に回転します。

5.1.2 ツアー

ツアーを設定することにより、カメラは異なるプリセットポイント間を巡回することができます。

注意: ツアーする前に少なくとも2つのプリセットを設定してください。

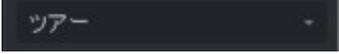
Step 1.  ツアーを選択して  をクリックします。

図 4-17 を参照してください。

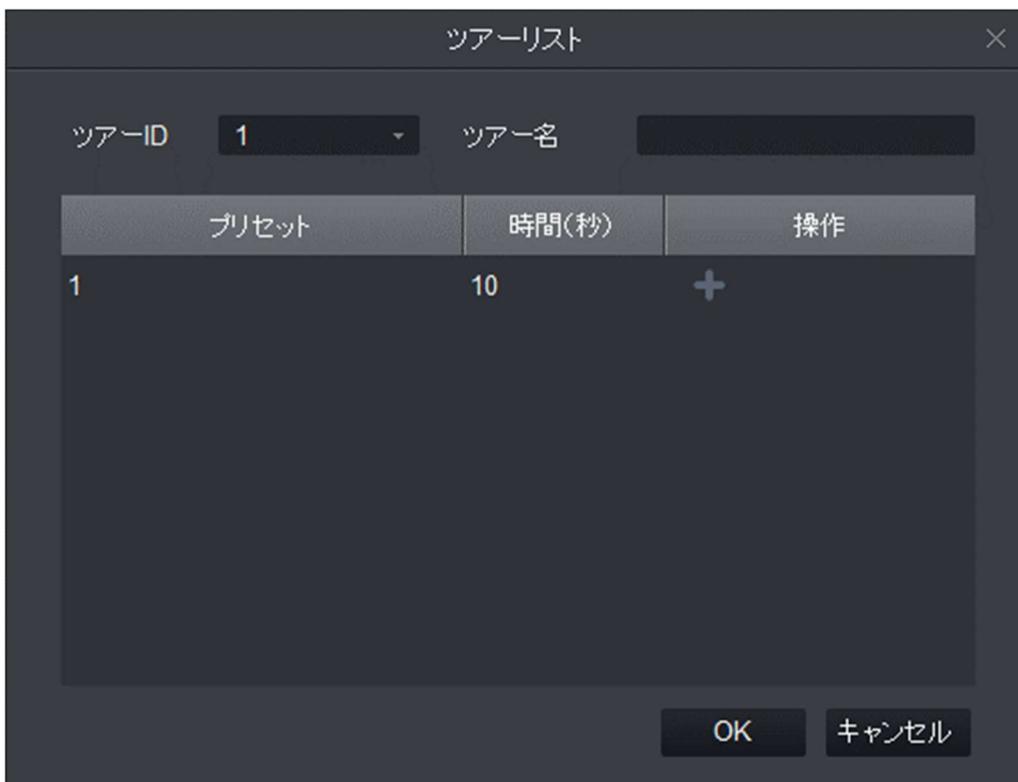


図 4-17

Step 2. ツアーID、ツアー名を設定します。

Step 3. プリセットを選択します。

b) プリセットリストでプリセットを選択し、時刻を入力します。

c)  をクリックしてプリセットを追加します。

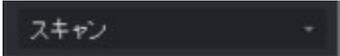
この手順を繰り返して、さらにプリセットを追加します。

Step 4. [OK]をクリックします。

Step 5. ツアーナンバーを選択する必要があります。 をクリックすると、カメラはさまざまなプリセット間を移動します。

5.1.3 スキャン

2つの境界を設定することにより、カメラは2つの境界の間を繰り返し動作します。

Step 1.  スキャンを選択します。

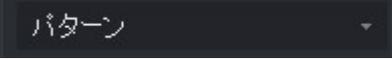
Step 2. コントロールの方向で、左側の指定したい位置に PTZ を操作し、 をクリックして左側のリミット線を設定します。

Step 3. コントロールの方向で、右側の指定したい位置に PTZ を操作し、 をクリックして右側のリミット線を設定します。

Step 4.  をクリックすると、左右2つの指定した範囲の間で動作を繰り返します。

5.1.4 パターン

パターン機能を使用してカメラの動作を記録する。

Step 1. パターンを選択します。

Step 2. をクリックしてパターンの設定を開始、カメラをズーム、フォーカス、回転させることができます。

Step 3. をクリックして設定を完了します。

Step 4. パターン No.を選択し、をクリックし、記録に従ってカメラ動作パターンを選択します。

5.2 魚眼レンズビューモード

※Fisheye デバイスのみサポートしています。設置モードは、次の図を参照してください。

パラメーター	Description	
ビューモード	現在のビデオ画面（デフォルトでは元のイメージモードをサポートしています）は、さまざまなインストール方法に従って、次のように別のプレゼンテーションで表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 天付: 1P + 1, 2P, 1 + 2, 1 + 3, 1 + 4, 1P + 6, 1 + 8. ● 壁付: 1P, 1P + 3, 1P + 4, 1P + 8. ● 平置き: 1P + 1, 2 P, 1 + 3, 1 + 4, 1P + 6, 1 + 8. 	
天付/壁面/平置き	 元画像	元の画像。
天付	 1 + 2	元画像と 2 つの独立したビデオと元画像サブフレームのサポートズーム、移動。
天付 / 壁面	 1P + 1	360°パノラマ+独立スプライトと長方形の拡張パノラマのサブ画像のサポートズーム、移動操作、四角形の拡大、パノラマについての四角形の拡大は、移動操作もサポート。
	 2P	180°の長方形の 2 つの関連する拡張された画面です。2 つのサブウィンドウは 360°のパノラマ、ダブルアノラマ、2 つの長方形のストレッチで構成され、画像のサポートと操作の開始点を中心に移動します。
	 1 + 3	元の画像+ 3 の独立したビデオと元の画像サブフレームのサポートズーム、移動。
	 1 + 4	元の画像+4 の独立したビデオと元の画像サブフレームのサポートズーム、移動操作、元の画像は回転開始操作の変更もサポート。
	 1P + 6	360°のパノラマ+6 の独立したビデオと長方形の拡張パノラマサブフレームのサポートである四角形です。ズーム、移動操作、長方形の開始を展開。

		パノラマについては、移動操作もサポート。
	 1 + 8	元の画像+8 の独立したビデオと元の画像サブフレームのサポートズーム、移動。
壁面取り付け	 1P	左から右への 360°のパノラマ展開の広場、180°のパノラマ長方形の拡大操作は上下の動きをサポートして垂直方向の視野角を変更。
	 1P + 3	拡張 360°パノラマの矩形+3 独立したビデオと長方形の拡張パノラマのサブフレームのサポートズーム、移動操作、長方形のパノラマ展開のサポート上下運動、垂直視野角を変更。
	 1P + 4	360°のパノラマ+ 4 つの独立したビデオと長方形の拡張パノラマのサブフレームをサポートするズーム、移動操作、四角形のパノラマ展開のサポート上下の動き、垂直視野角を変更する四角形を展開。
	 1P + 8	360°パノラマ+8 独立したビデオと長方形の拡張パノラマサブフレームをサポートするズーム、移動操作、四角形のパノラマ展開のサポート上下運動、垂直視野角を変更する四角形を拡大。

6. ツアー & タスク

ツアープランを設定することで、各ウィンドウをツアーすることができます。

Step 1. [新しい機能]タブで、[ツアーとタスク]をクリックします。

Step 2. ツアープランを追加する。

a) 「追加」をクリックします。図 5-1 を参照してください。

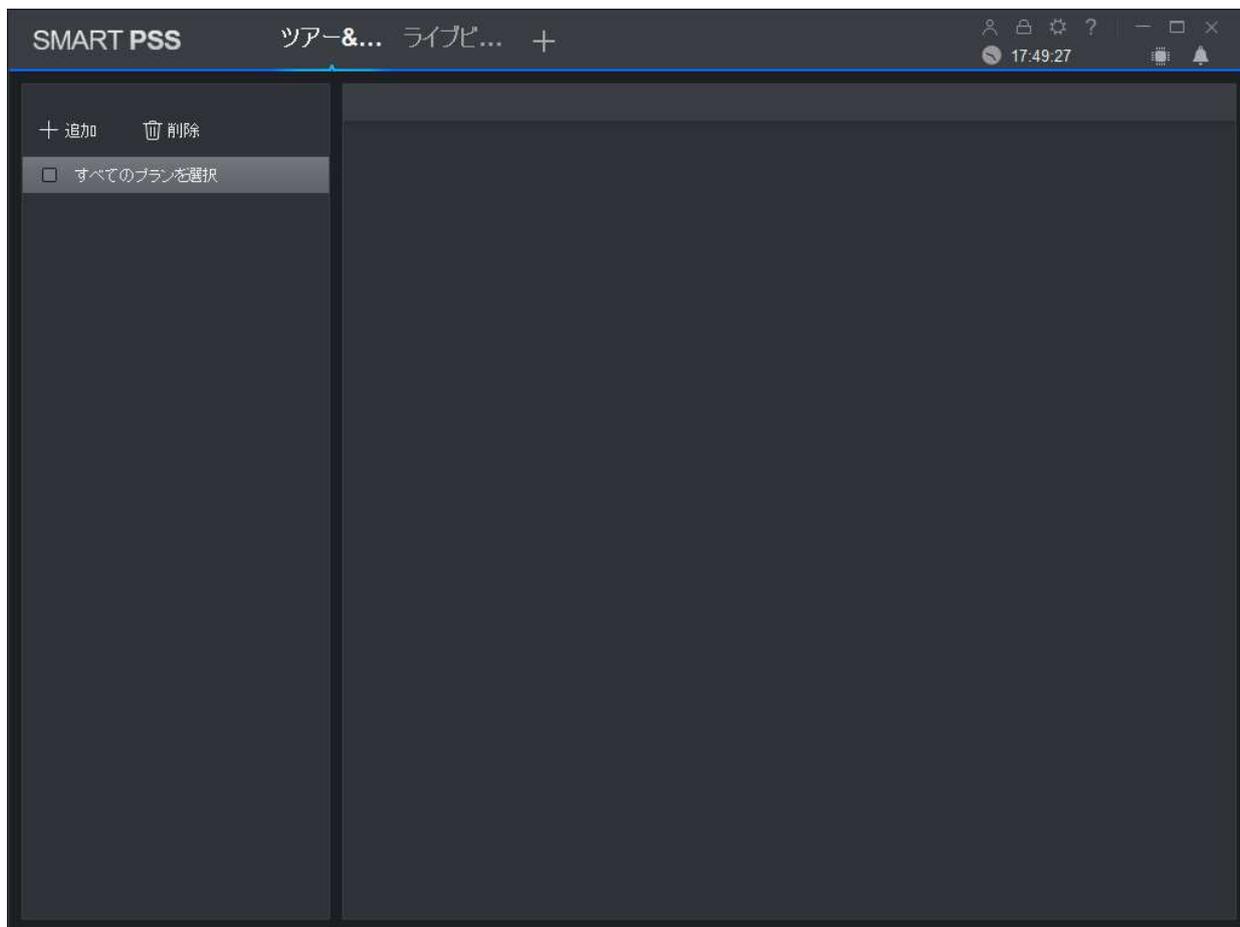
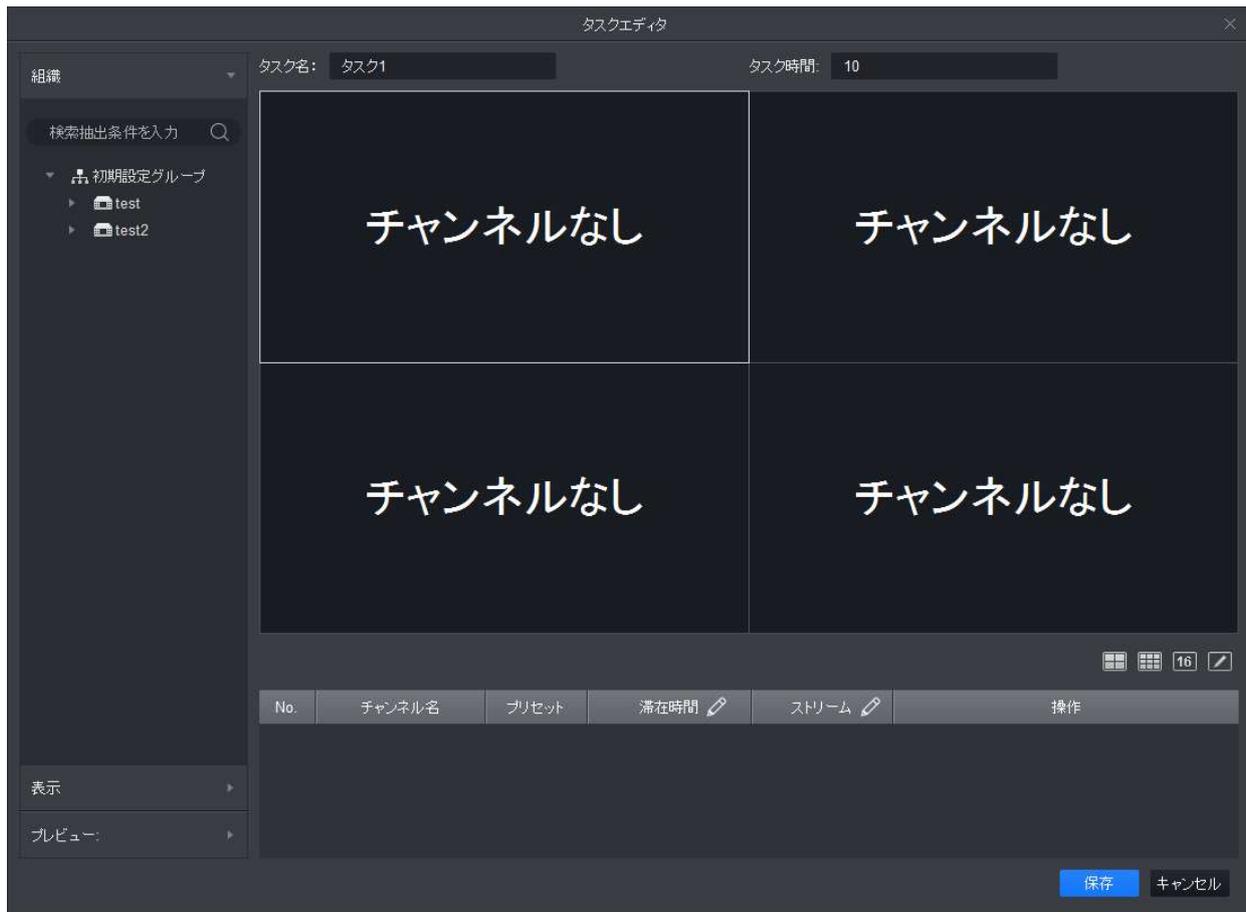


図 5-1

b) ツアープラン名をダブルクリックするか、をクリックしてツアープラン名を変更します。

Step 3. タスクをセットします。

a) をクリックします。図 5-2 を参照してください。



35

図 5-2

- b) 実際の条件に従ってタスク名と時間帯を設定して  をクリックすると、ツアーウィンドウ番号が設定されます。
- c) デバイスのチャンネルをダブルクリックするか、デバイスのチャンネルを希望の順番でビデオウィンドウにドラッグします。図 5-3 を参照してください。

Note:

- 組織ツリーで、ストレージデバイスを右クリックし、[IPC のバインド]を選択すると対応するビデオウィンドウで表示されます。組織ツリーでストレージデバイスを右クリックして、[全チャンネルのバインド] を選択するとすべてのチャンネルが表示されます。
- ビデオウィンドウを右クリックし、バインドを削除するか、すべてのバインドを削除します。

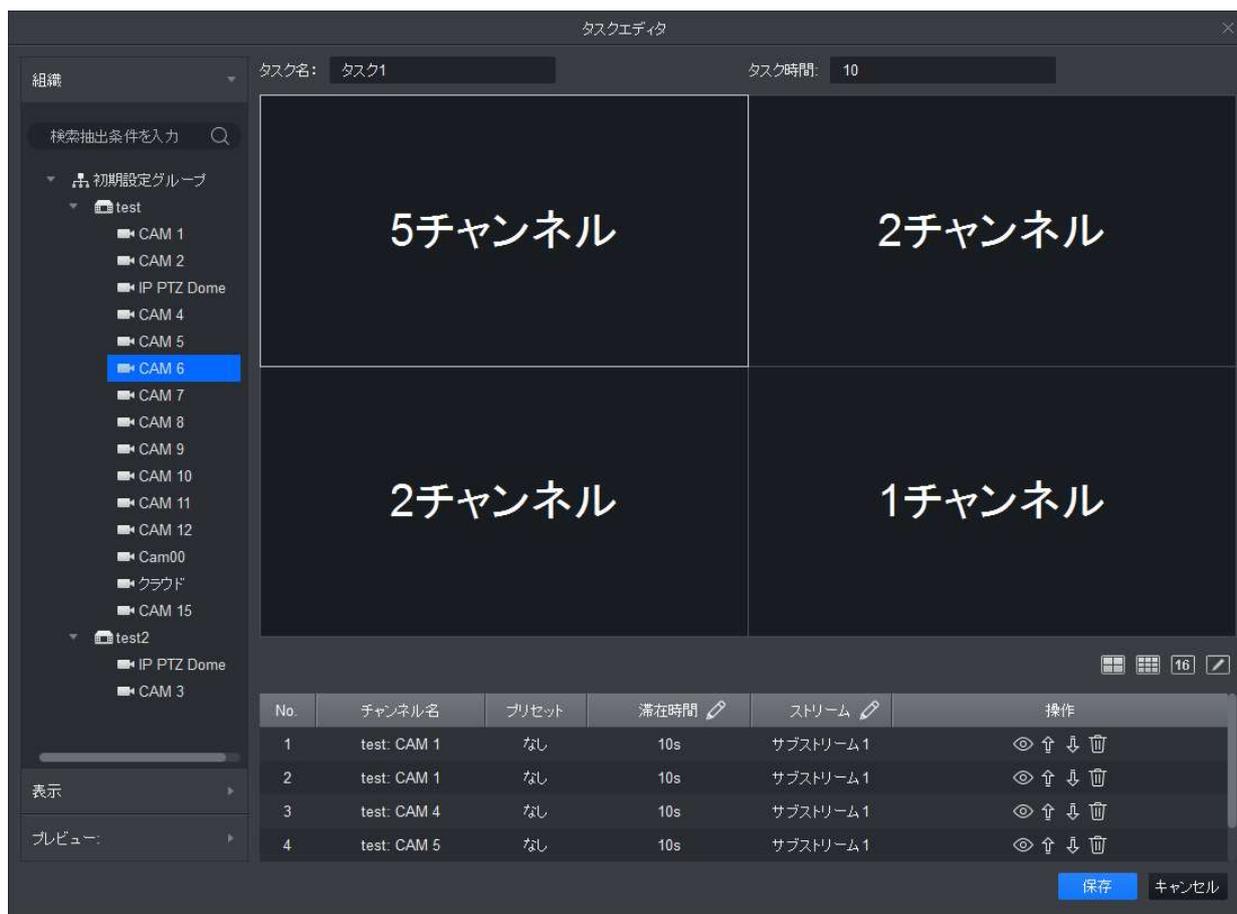


図 5-3

チャンネル名、プリセット、滞在時間、ストリーム、操作を設定します。

Note:

- ライブプレビューまたは Emap 情報を表示するために左のプレビュー画面に表示されます。
- or 対応するチャンネルのシーケンスの順番を調整します。
- チャンネルを削除します。

d) [保存]をクリックします（図 5-4 を参照）。

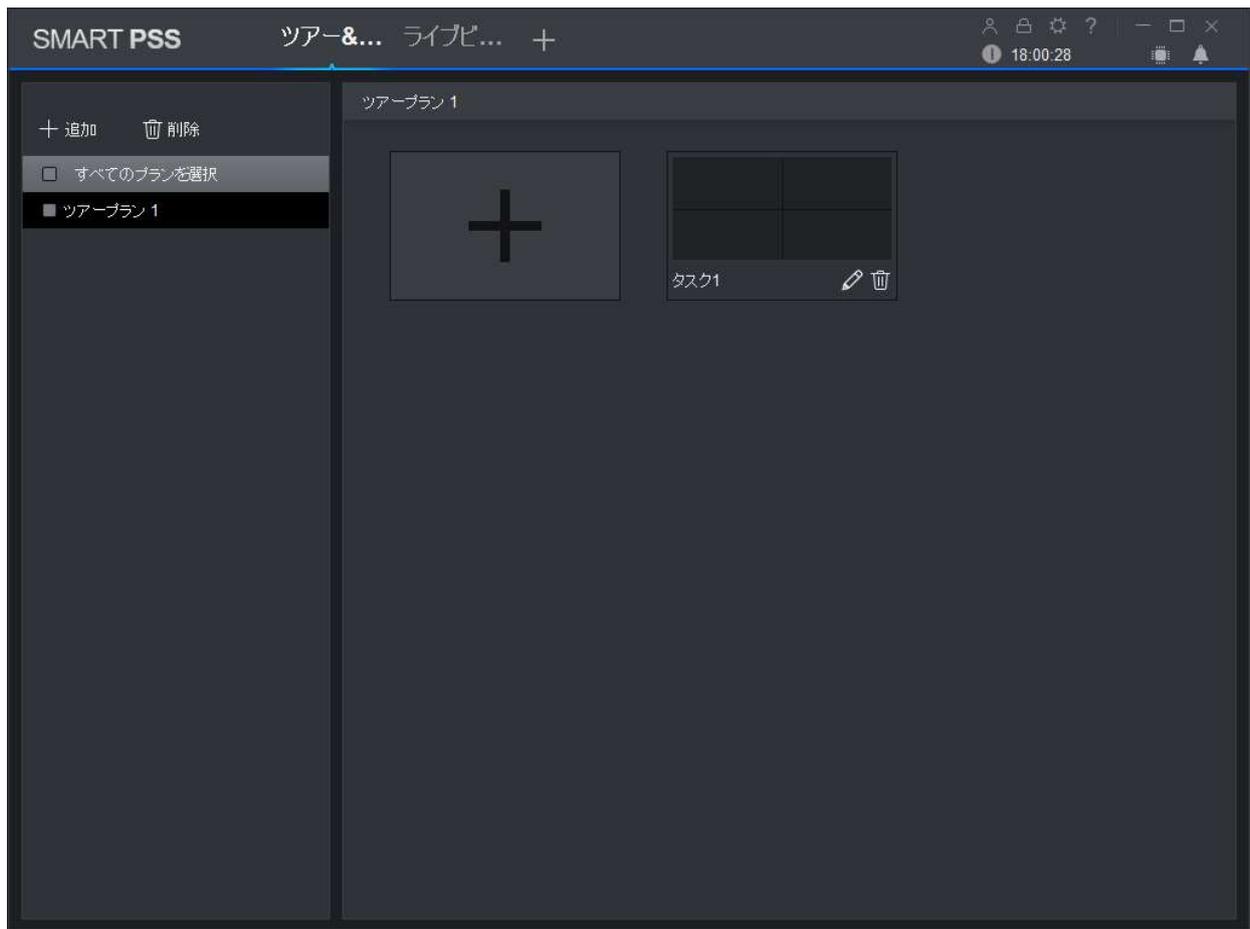


図 5-4

Step 4. ツアータスクを有効にする。

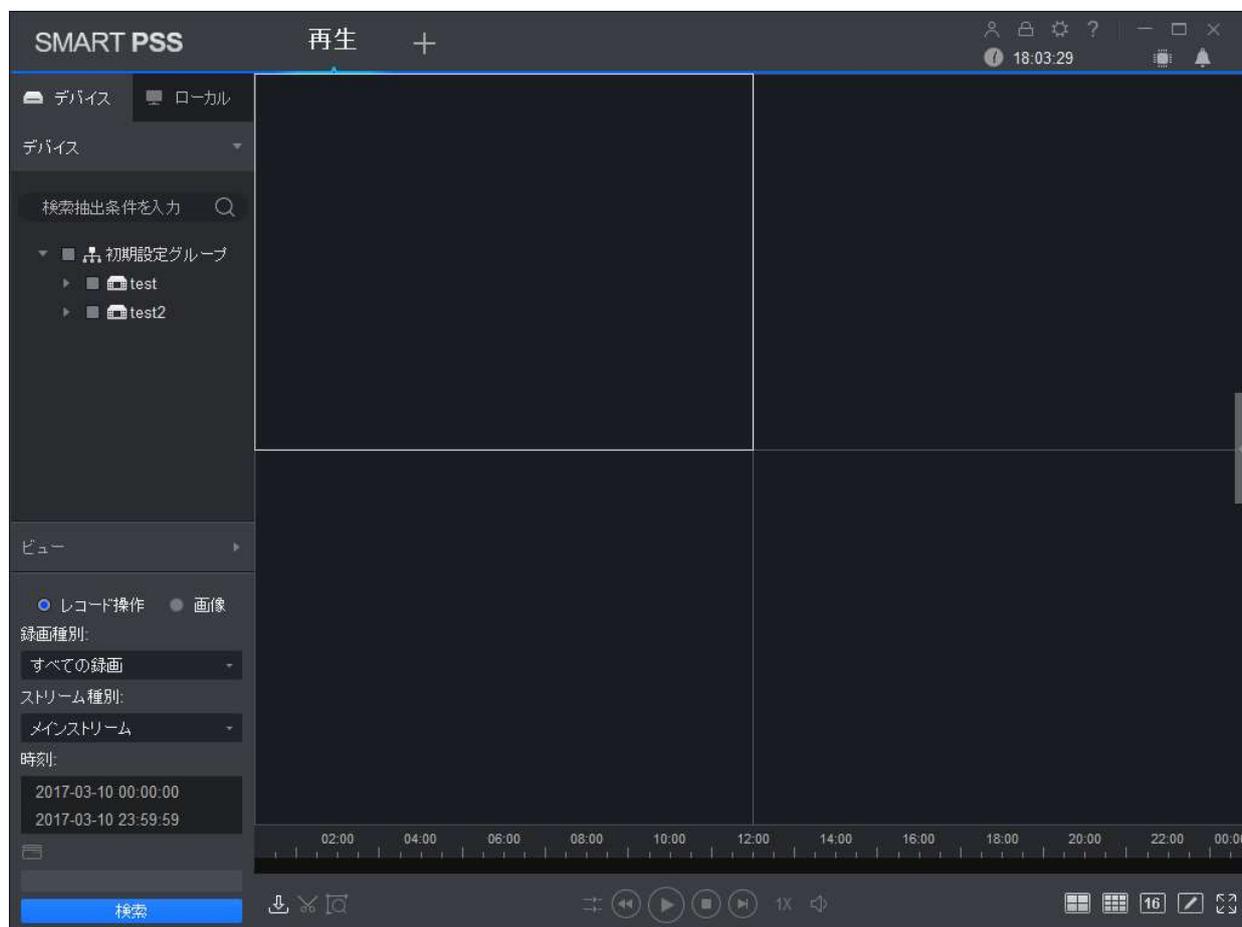
- a) [新規]タブで、[ライブビュー]をクリックします。
- b) 対象のツアープランをクリックします。
- c)  をクリックするとツアーを実行します。

7.再生

7.1 再生

デバイスレコード、デバイスピクチャ、ローカルレコード、ローカルピクチャを再生してエクスポートできます。

[新規]タブで[再生]を選択します（図 6-1 を参照）。



38

図 6-1

No.	Task	Note
1	録画再生	録画デバイスを再生することができます。詳細は 6.2 を参照してください。
	録画イメージ	録画イメージを再生することができます。詳細は 6.4 を参照してください。
	ローカル再生	ローカルビデオを再生することができます。詳細は 6.6 を参照してください。
	ローカルイメージ再生	ローカルイメージを再生することができます。詳細は 6.8 を参照してください。
	組織ツリー/エリアツリー	<ul style="list-style-type: none">● デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合、デバイスツリーにはデバイスのグループ化とチャンネルが表示されます● デフォルトのデバイスツリーがエリアツリー（チャンネル別）に設定されている場合、デバイスツリーにチャンネルが表示されます。

		デフォルトデバイスツリーの設定については、8章を参照してください。
	ログアウトとログイン	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合、デバイスを右クリックしてログアウトを選択します。ソフトウェアとデバイスの接続が解除されます。ログアウト後デバイスを右クリックして、[ログイン]を選択し、デバイスを再接続します。
	ビュー	[デバイス]タブで、[ビュー]をクリックします。をクリックすると再生ビューのビデオデバイスが表示されます。詳細は、第 4.1 章を参照してください。
2	再生ストリーム情報	開いているビデオでビデオウィンドウを選択し、ステータスバーに再生ストリーム情報を表示します。
	スナップショット	開いているビデオウィンドウを選択して  を右クリックして[スナップショット]、を選択します。  をクリックし、パスを修正して画像を保存することができます。
	ズーム	開いている再生ビデオウィンドウを選択し、  をクリックします。
	閉じる	再生ウィンドウで  をクリックするか、右クリックして[ビデオを閉じる]を選択します。
	全て閉じる	ビデオウィンドウを選択し、右クリックして[すべてのビデオを閉じる]を選択します。
3	アスペクト比を設定	ビデオウィンドウを選択し、ウィンドウスケールを右クリックしてビデオアスペクト比を選択します。
	オーディオ	次の 2 つの方法でオーディオをオンにすることができます。 ● 開いている再生ビデオウィンドウを選択し、[オーディオ] を右クリックします。 ●  をクリックでコントロールツールバーを再生し、ボリュームを調整します。
4	デバイスレコード検索条件を設定	デバイスタブでデバイスまたはビューを選択し、レコードを選択し、レコードタイプ、ストリーム、開始時刻および終了時刻を設定し、検索をクリックすると、記録情報がスケジュールボックスに表示されます。 ● 記録タイプには、ビデオ記録、一般記録、アラーム記録、モーション検出記録、インテリジェント記録およびカード記録のすべてのタイプが含まれます。 ● ストリームには、メインストリームとサブストリームが含まれます。 ● 開始時間と終了時間の間隔は 1 日以内でなければなりません。
	デバイスピクチャ検索条件を設定する	[デバイス]タブで、デバイスを選択するか、または表示し、[ピクチャ]を選択し、開始時刻と終了時刻を設定し、[検索]をクリックすると、再生情報ウィンドウにイメージ情報が表示されます。 開始時刻と終了時刻の間隔は 1 日以内でなければなりません。
5	時刻	検索する時刻を設定する。

6	プログレスバー	 をクリックでビデオまたは画像のエクスポートの進行状況を表示し、結果をエクスポートします。
	録画エクスポート	デバイスビデオファイルを書き出します (Ch.3.3 参照)。
	キャプチャエクスポート	デバイスの画像ファイルをエクスポートする (6.5 章を参照)。
	ローカルエクスポート	ローカルビデオファイルをエクスポートします。Ch 6.7 を参照してください。
	ビデオを開く	ローカルビデオを開く
	スマート検索	開いている再生ビデオウィンドウ  を選択し、ビデオ再生ウィンドウでスマート検索を選択します。 スマート検索を終了するには  をクリックします。
7	再生コントロール ツールバー	ビデオの再生とオーディオを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> ●  すべてのチャンネルの同じ時点からのビデオ再生。 ●  ビデオの逆再生。 ●  ビデオの再生。 ●  ビデオ再生を一時停止。 ●  ビデオの再生を停止。 ●  シングルフレーム逆方向再生。 ●  シングルフレームフォワード再生。 ●  再生速度を調整します。
8	表示モードを設定する	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的のビデオウィンドウの  表示モードを選択するか、ビデオウィンドウの表示モードをカスタマイズするかを選択します。 ● ビデオウィンドウの  クリックまたは選択し、フルスクリーンを選択し、ビデオウィンドウのフルスクリーン表示を選択します。
9	ビデオファイルリスト	アイコンをクリックすると対応するチャンネルビデオファイルのリストが展開され、再生するビデオファイルを選択して対応するビデオファイルを書き出すことができます。

7.2 録画再生

Condition : チャンネル内に録画映像があることが条件です。

Steps:

Step 1. 再生インターフェイスで[デバイス]タブをクリックします。

Step 2. 組織ツリーで、デバイスチャンネルを選択するか、[View]で選択します。

Step 3. レコード検索条件を設定します。

- a) 録画種別とストリーム種別を選択し、時刻を設定します。
- b) [検索]をクリックします。

Step 4. レコードのあるウィンドウを選択し、をクリックします。図 6-2 を参照。

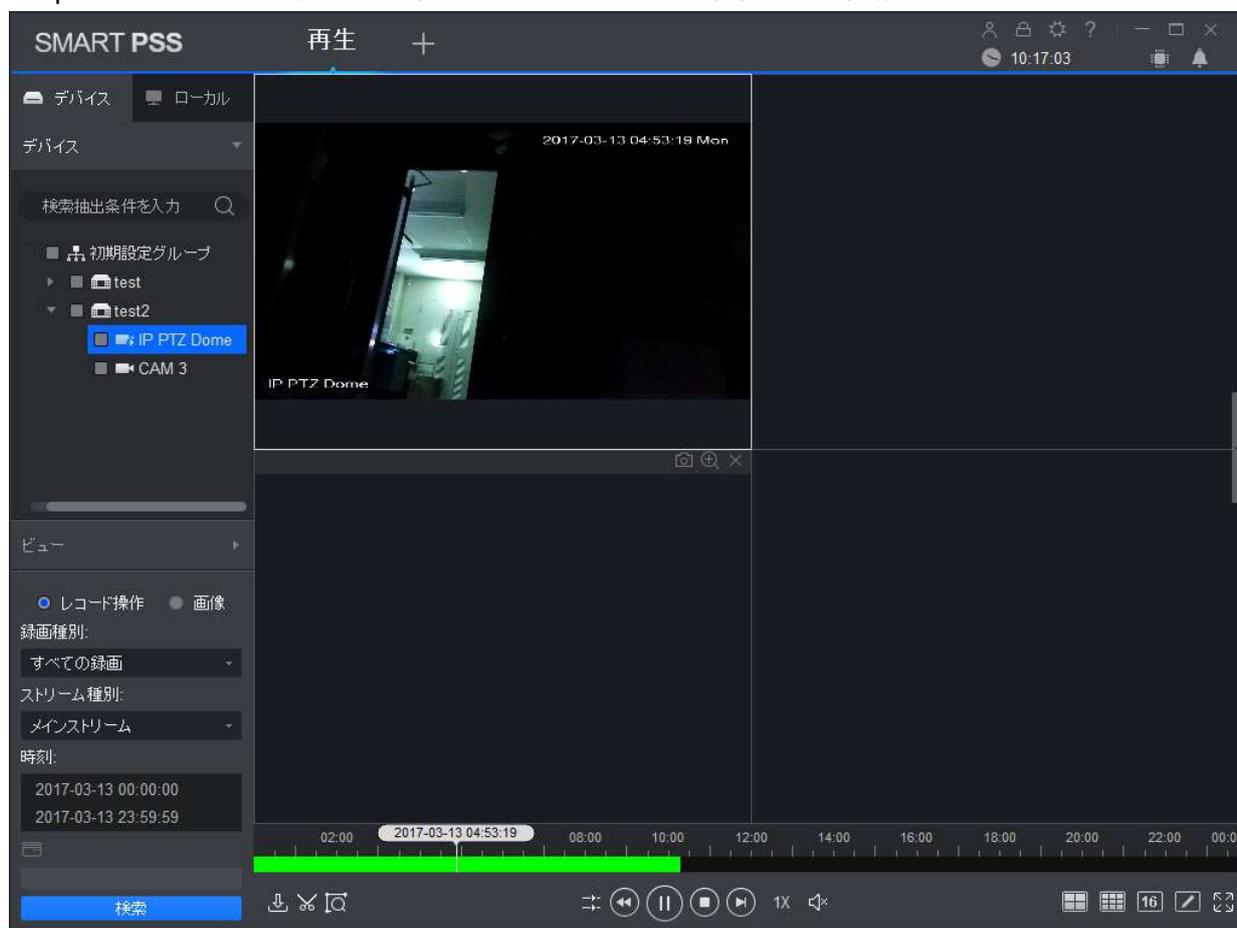


図 6-2

7.3 録画のエキスポート

Condition : チャンネル内に録画映像があることが条件です。

Step 1. 再生インターフェイスで、[デバイス]タブをクリックします。

Step 2. 組織ツリーで、デバイスチャンネルを選択するか、[ビュー]で対象のビューを選択します。

Step 3. レコード検索条件を設定します。

- a) 録画種別とストリーム種別を選択し、時刻を設定します。
- b) [検索]をクリックします。

Step 4. レコードのあるウィンドウを選択し、をクリックします。

Step 5. レコードを選択し、をクリックします。レコード部分をバーの範囲で調整し、を再度クリックします。図 6-3 を参照してください。

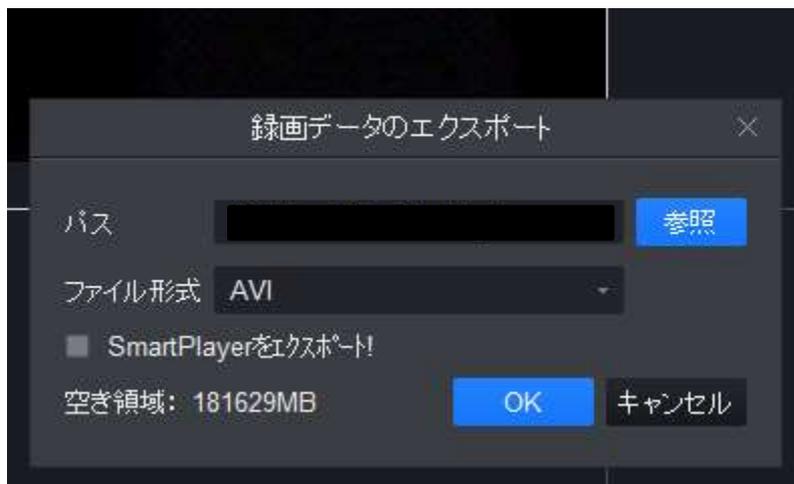


図 6-3

Step 6. エクスポートパスとファイル形式を選択します。

Note: ファイル形式がオリジナル形式の場合は、SmartPlayer を一緒にエクスポートしてください。

Step 7. OK をクリック

再生停止情報が表示されたら、[OK]をクリックします。

以下の図 6-4 のような Export Progress ダイアログボックスが表示されます。

42

[エクスポート]タブをクリックすると、ビデオのダウンロードの進行状況を表示し、エクスポート中のビデオを一時停止したり一時停止中のビデオを再ダウンロードすることもできます。ビデオをエクスポートしたりできます。エクスポートされたタブをクリックするとダウンロード履歴を表示し、ファイル保存パスを開くことができます。

図 6-4



7.4 デバイスピクチャ再生

Condition : チャンネル内にピクチャ画像があることが条件です。

Steps

Step 1. 再生インターフェイスで、[デバイス]タブを選択します。

Step 2. 組織ツリーで、デバイスチャンネルを選択するか、[ビュー]で対象のビューを選択します。

Step 3. 画像を選択して時刻を設定します。図 6-5 を参照してください。



デバイスのピクチャリストを開いたり閉じたりできます。

デバイスピクチャリストで、をクリックすると、デバイスピクチャリストがリストの形式で表示されます。をクリックすると、デバイスピクチャリストがサムネイルの形式で表示されます。

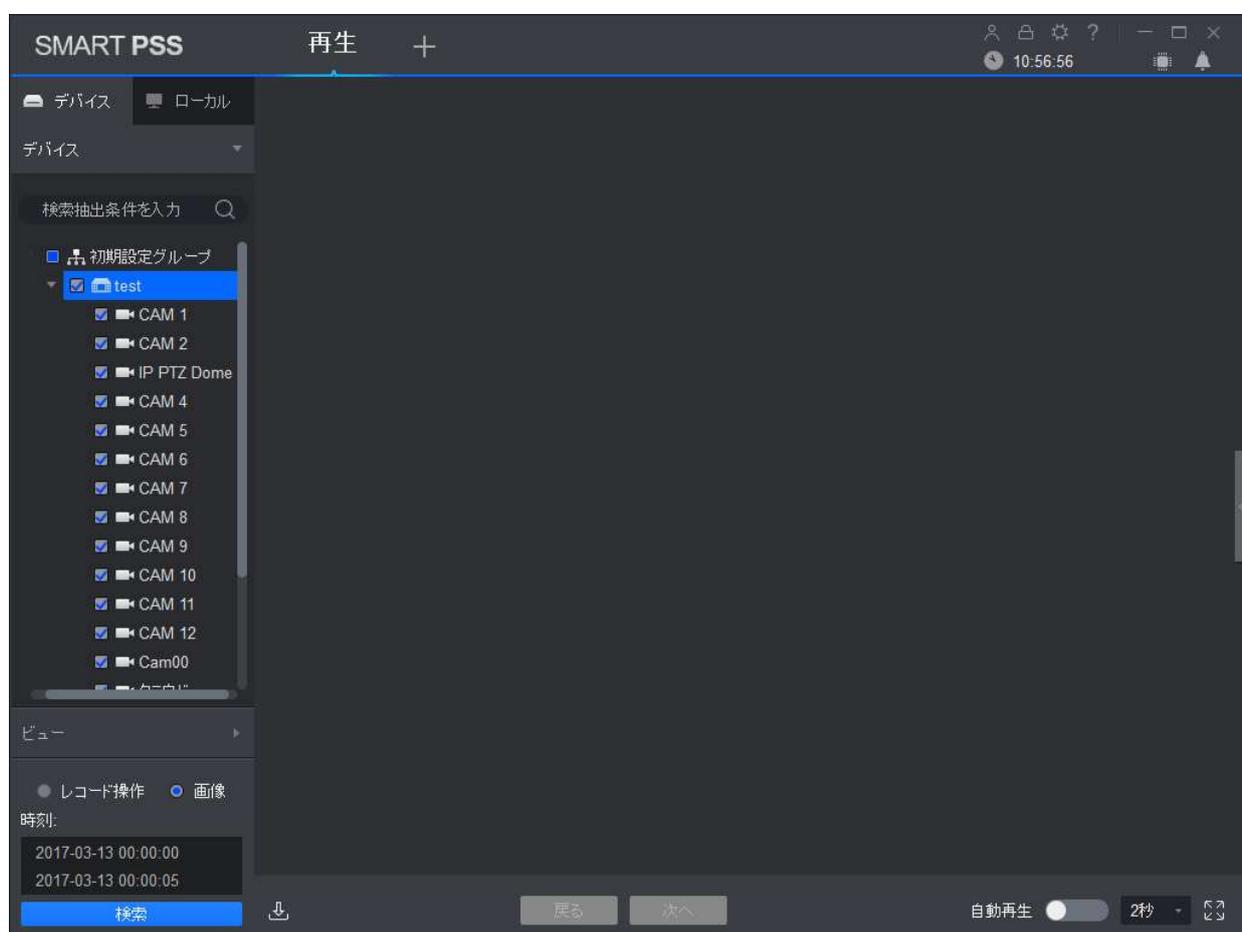


図 6-5

Step 4. 再生ピクチャ

- 手動再生 : [次へ]または[プレビュー]をクリックします。
-  自動再生 : 自動再生にスライドし、間隔を設定すると、システムはローカルピクチャを自動再生します。

7.5 デバイスピクチャーエクスポート

Step 1. 再生インターフェイスで、[デバイス]タブを選択します。

Step 2. 組織ツリーでデバイスチャンネルを選択するか、または[ビュー]で対象のビューを選択します。

Step 3. 画像を選択して時刻を設定します。

Step 4.  右に、デバイスの画像をエクスポートします。

Step 5.  をクリックして保存をします。図 6-6 を参照してください。

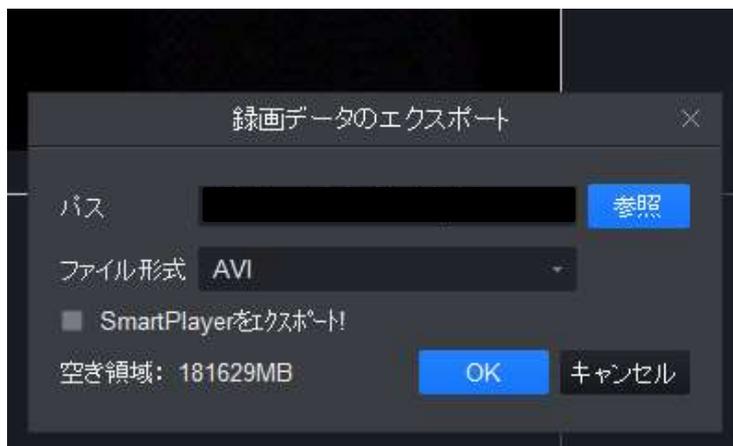


図 6-6

Step 6. エクスポートパスを選択し、[OK]をクリックします。図 6-7 を参照してください。

[エクスポート完了タブ]をクリックすると、ダウンロード記録を表示したり、ピクチャの保存パスを開いたり、ダウンロードしたファイルを削除したりできます。

44



図 6-7

7.6 ローカル録画再生

Condition : ローカル PC 内にピクチャ画像があることが条件です。(Ch 4.1 を参照)。

Steps

Step 1. 「再生」インターフェイスで、「ローカル」タブを選択します。

Step 2. [レコード]タブをクリックします。

ローカルレコードリストで、をクリックでリストモード表示。をクリックでサムネイルモード表示。

Step 3. 再生するレコードを選択し、レコード  をクリックまたはウィンドウをダブルクリックします。図 6-8 を参照してください。

Note:  クリックすると、再生用のローカルレコードファイルを開くことができます。

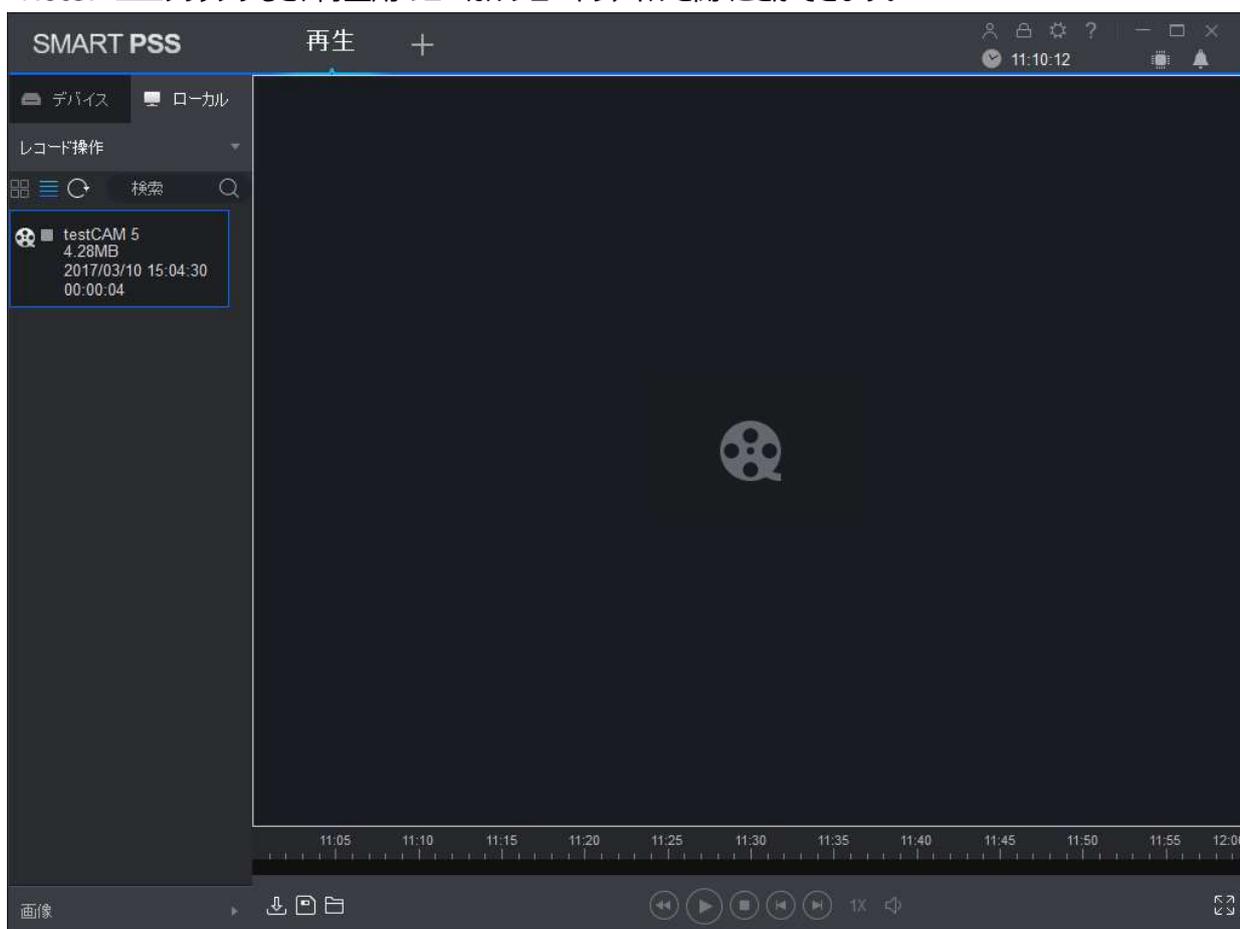


図 6-8

7.7 ローカル録画エクスポート

ローカルレコードをエクスポートできます。

Condition : ローカル PC 内にピクチャ画像があることが条件です。(Ch 4.1 を参照)。

Steps

Step 1. 再生インターフェイスで、[ローカル]タブをクリックします。

Step 2. 対象のレコードをクリックします。

Step 3. エクスポートするレコードを確認し、をクリックします。図 6-9 を参照してください。

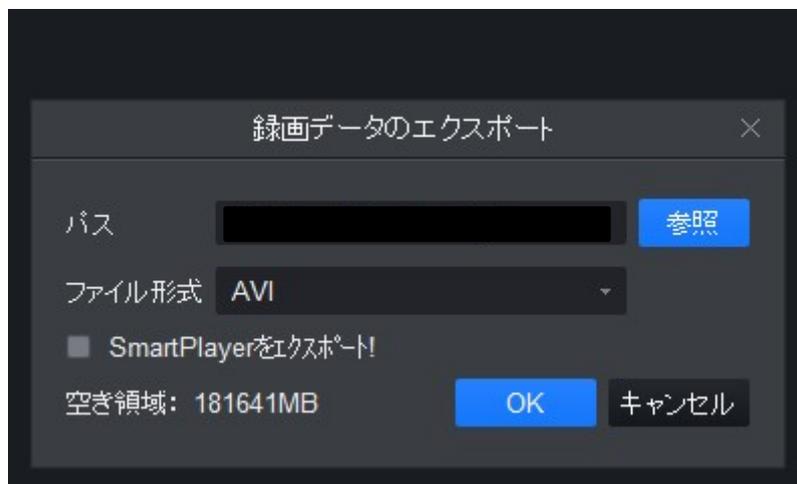


図 6-9

Step 4. エクスポートパスとファイル形式を選択します。

Note: ファイル形式がオリジナル形式の場合は、SmartPlayer を一緒にエクスポートしてください。

Step 5. OK をクリック。

図 6-10 のように、エクスポートプログレスバーが表示されます。

[エクスポート]タブをクリックすると、ビデオのダウンロードの進行状況を表示し、エクスポート中のビデオを一時停止したり一時停止中のビデオを再ダウンロードすることもできます。ビデオをエクスポートしたりできます。エクスポートされたタブをクリックするとダウンロード履歴を表示し、ファイル保存パスを開くことができます。



図 6-10

7.8 ローカルピクチャ再生

Condition : ローカル PC 内にピクチャ画像があることが条件です。(Ch 4.1 を参照)。

Steps

Step 1. 「再生」インターフェイスで、「ローカル」タブを選択します。

Step 2. [画像]タブをクリックします。

ローカルピクチャリストで、をクリックでリストモード表示。をクリックでサムネイルモード表示。

Step 3. 再生する画像を選択し、をクリックするかウィンドウをダブルクリックします。図 6-11 を参照してください。



図 6-11

Step 4. ピクチャ再生

- 手動再生 : [次へ]または[プレビュー]をクリックします。
- 自動再生 :  自動再生をスライドし、再生間隔を設定するとローカルピクチャを自動再生します。

8. ログ検索

8.1 クライアントログ検索

Step 1. [新規]タブで、[ログ]をクリックします。

Step 2. を選択するとクライアントインターフェイスが表示されます。

Step 3. 時刻、ログ種別、キーワードを設定します。クライアントログには、システムログ、操作ログ、およびアラームログが含まれます。

Step 4. [検索]をクリックします。図 7-1 を参照してください。

ログが正常に検索されたら、[バックアップ] をクリックしてログをエクスポートできます。

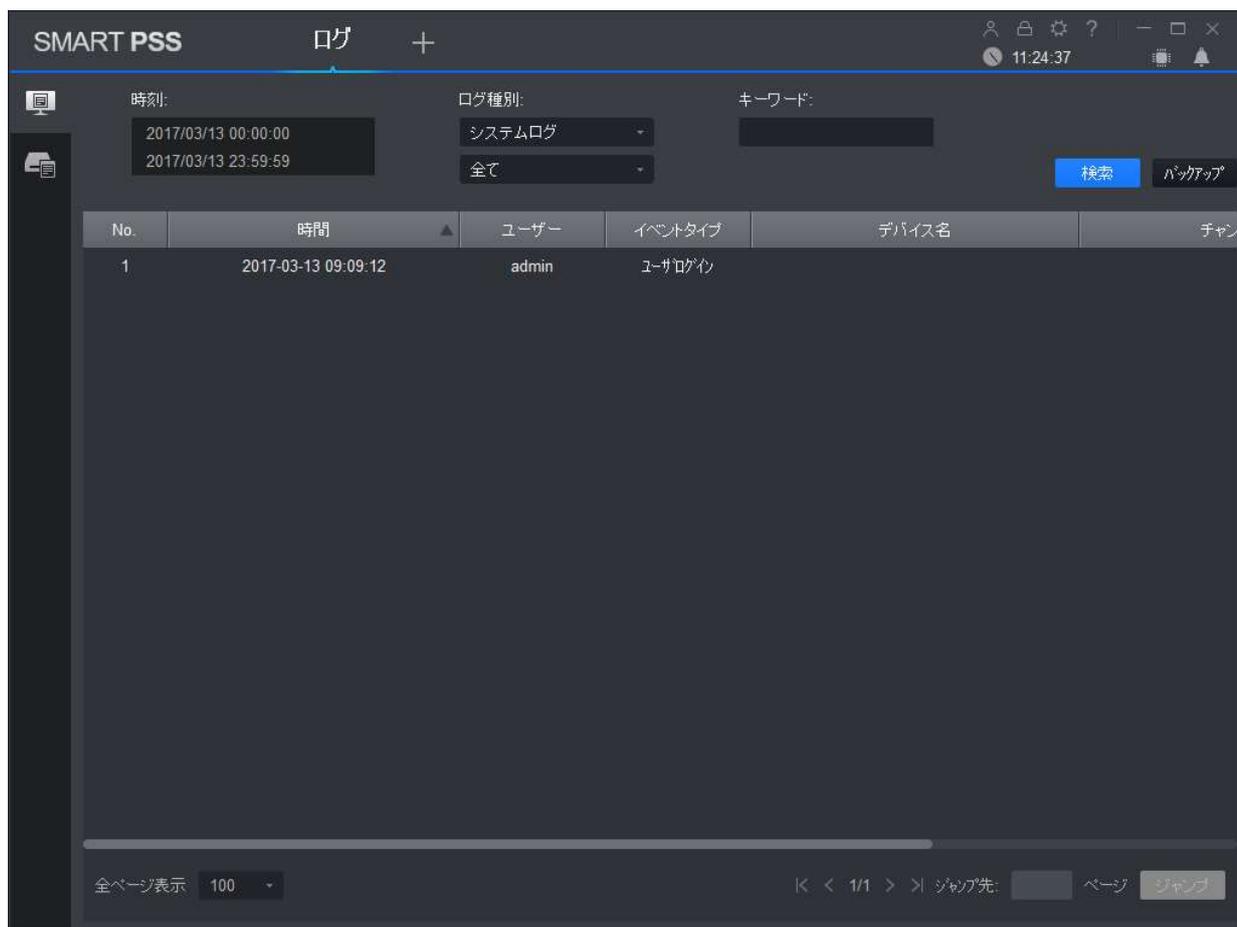


図 7-1

8.2 デバイスログ検索

Step 1. [新規]タブで、[ログ]をクリックします。

Step 2. を選択するとデバイスインターフェイスが表示されます。

Step 3. 時刻、ログ種別、およびデバイスを設定します。クライアントログには、システムログ、設定ログ、ストレージログなどが含まれます。

Step 4. [検索]をクリックします。図 7-2 を参照してください。

ログが正常に検索されたら、[バックアップ] をクリックしてログをエクスポートできます。

SMART PSS ログ +

時刻: 2017/03/13 00:00:00
2017/03/13 23:59:59

ログ種別: 全てのタイプ

機器: test

検索 バックアップ

No.	時間	ユーザー	ログタイプ	ノート
1	2017-03-13 06:11:26	admin	リモート情報	チャンネル:13 IP アドレス:192.168.11.151 形式:ユーザがログイ
2	2017-03-13 06:11:27	admin	イベントが始まる	イベント形式:IPC オフライン警報 チャンネル:13 開始時間:2017-03-13
3	2017-03-13 06:11:34	admin	イベント終了	イベント形式:IPC オフライン警報 チャンネル:13 終了時間:2017-03-13
4	2017-03-13 07:40:30	admin	リモート情報	チャンネル:13 IP アドレス:192.168.11.151 形式:オフラ
5	2017-03-13 07:40:35	admin	イベントが始まる	イベント形式:IPC オフライン警報 チャンネル:13 開始時間:2017-03-13
6	2017-03-13 07:41:12	admin	リモート情報	チャンネル:13 IP アドレス:192.168.11.151 形式:ユーザがログイ
7	2017-03-13 07:41:19	admin	イベント終了	イベント形式:IPC オフライン警報 チャンネル:13 終了時間:2017-03-13
8	2017-03-13 08:40:24	admin	ユーザがログイン...	IP アドレス: 127.0.0.1 ユーザ: admin
9	2017-03-13 08:40:24	admin	ユーザがログイン...	ユーザ: admin
10	2017-03-13 08:40:24	admin	ユーザがログイン...	IP アドレス: 127.0.0.1 ユーザ: admin
11	2017-03-13 08:42:15	admin	ユーザがログアウト...	IP アドレス: 127.0.0.1 ユーザ: admin
12	2017-03-13 08:42:16	admin	ユーザがログアウト...	ユーザ: admin
13	2017-03-13 09:09:04	admin	ユーザがログイン...	IP アドレス: 127.0.0.1 ユーザ: admin
14	2017-03-13 09:09:04	admin	ユーザがログイン...	ユーザ: admin
15	2017-03-13 09:09:04	admin	ユーザがログイン...	IP アドレス: 127.0.0.1 ユーザ: admin
16	2017-03-13 10:23:11	admin	ユーザがログイン...	ユーザ: admin

全ページ表示 100

1/2 ジャンプ先: ページ ジャンプ

図 7-2

9.システム設定

基本情報、プレビュー、イベント、ログ、システムと言語、ホットキー、ファイルパス、システムのバックアップを設定することができます。

Step 1. トップページ右上にあるをクリックします。図 8-1 を参照してください。



図 8-1

Step 2. パラメーターを設定するには、次の図を参照してください。

タイプ	パラメーター	Note
ベース	初期ページ	ソフトウェアを開いたときに表示されるページを選択。
	最大表示	フルスクリーン or 最大ウィンドウ
	最小表示	浮動ウィンドウ表示をチェックし、ソフトウェアが最小化されたとき浮動ウィンドウを表示。
	デフォルトビデオスケール	オリジナル or 拡大

	デフォルトデバイスツリー	<p>プレビュー、再生、およびその他のインタフェースデバイスのツリー表示形式を設定します。ソフトウェアの再起動後に有効になります。</p> <p>以下のオプションを含める：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デバイスツリー（デバイスごと）：デバイスごとのグループ化 ● 領域ツリー（チャンネル別）：チャンネルごとに分類
プレビュー	インスタント再生時間	プレビュー画面のタイムリポート時に設定します。
	最後のプレビューを再開	ソフトウェアを終了、または再ログイン後にプレビュー画面を開くと、ソフトウェアが終了する前のビデオが復元されます。
再生	デバイスツリーの選択を保存	[デバイスツリーの選択を保存]チェックボックスを有効にします。ビデオ検索が終了すると、デバイスは選択されたままになります。
デバイスマネージャー	デバイスチャンネル番号の表示	デバイスチャンネル番号の表示をチェックしてから、デバイスインタフェースソフトウェアで自動的にユニーク番号を割り当てます。
	デバイスオートログイン	デバイスオートログインを選択し、ソフトウェアを再起動するとソフトウェアが自動的に追加されたデバイスを記録します。
	ユーザーとキーの自動入力	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動入力のユーザーとキーを確認し、ユーザー名とパスワードを入力するとソフトウェアは自動的にユーザー名とパスワードに従ってデバイスを追加します。 ● ログインユーザー名とパスワードセットがデバイスのユーザーとパスワードと同じであれば、ログインは成功し、間違っているとログインは失敗します。
イベント	ループプレイ	イベントが発生するとループをチェックし、アラームをループします。
	グローバル wav	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル wav をチェックし、オーディオファイルパスを選択すると、すべてのアラームがオーディオファイルを再生します。 ● グローバル wav をチェックしないで、ドロップダウンリストでさまざまな種類のイベントとイベントを選択し、対応するオーディオファイルを個別に設定します。
ログ	ログ保存期間	ログ保存時間の設定。ソフトウェアの再起動後に有効になります。
システム	ネットワーク機能	実際のネットワークパフォーマンスに従ってネットワークを設定します。

言語	オートチェック 時間	オートチェック時間を選択し、設定時間中にソフトウェアが開いているときソフトウェアはローカル PC 時間と自動的に同期します。
	チェック時間	[チェック時間]をクリックすると、PC とソフトウェアが時刻同期します。
	言語	ソフトウェアの言語を設定し、再起動後に有効になります。
ホットキー		<ul style="list-style-type: none"> ● 共通操作のショートカットキーを設定できます。 ● ホットキーの対応する機能の列をダブルクリックし、キーボードのホットキー機能を設定し後[適用]をクリックします。 ● デフォルトを復元するには、[初期設定]をクリックします。 ● 全画面でリアル再生、録画リプレイ表示、イベント表示、システム設定表示、モニタープラン表示、等の設定が可能です。
ファイルパス	画像パス	画像保存パスを設定します。
	録画パス	録画保存パスを設定します。
バックアップリストア	バックアップ	[バックアップ]をクリックして、ソフトウェア構成ファイルをエクスポートします。
	復元する	[復元する]をクリックし、以前にエクスポートしたソフトウェア構成ファイルを選択すると、ソフトウェアは以前保存した構成に戻ります。

Step 3. [保存]をクリックします。

10. ユーザー

10.1 役割情報

役割を追加、変更、削除することができます。

Step 1. [新規]タブで、[ユーザー]をクリックします（図 9-1 を参照）。

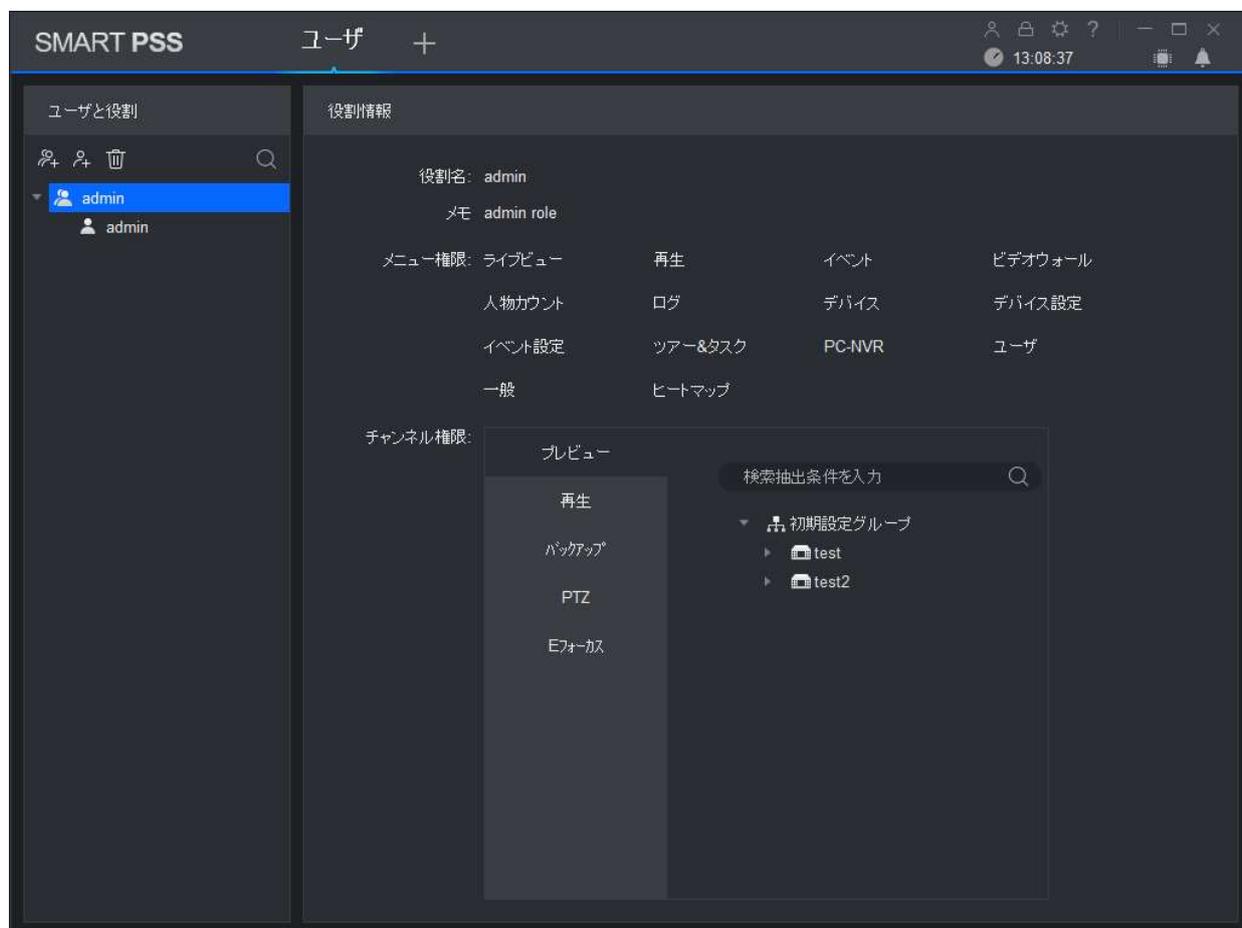


図 9-1

Step 2.  をクリックします。図 9-2 を参照してください。

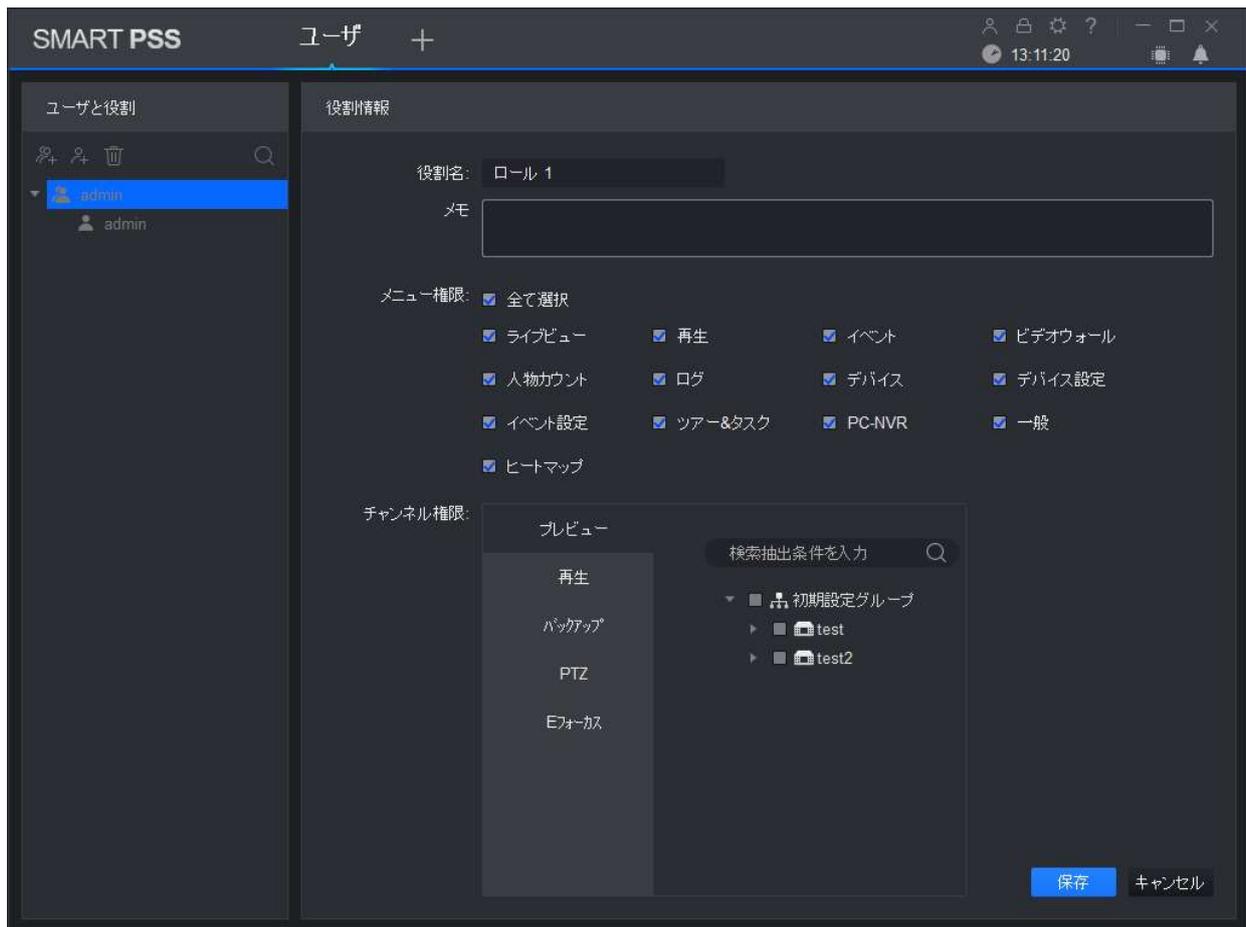


図 9-2

Step 3. 役割名を設定し、メモを記入します。

Step 4. メニュー権限をチェックし、チャンネル権限のタブを選択して右側の役割チャンネルを設定します。

Note:

対応する役割のユーザーがクライアントにログインした場合、[新規]タブに未割り当てのメニュー権限が表示されず、対応するデバイスツリーに割り当てられていないチャンネルの権利が表示されません。

Step 5. [保存]をクリックします。

Note:

管理者には、変更または削除すべての権利があります。役割が追加された後、権限を変更したり役割を削除したりすることができます。

警告： 役割を削除すると、役割内のユーザーも自動的に削除されます。

10.2 ユーザー

ユーザーを追加、変更、削除することができます。

Step 1. [新規]タブで、[ユーザー]をクリックします。図 9-3 を参照してください。

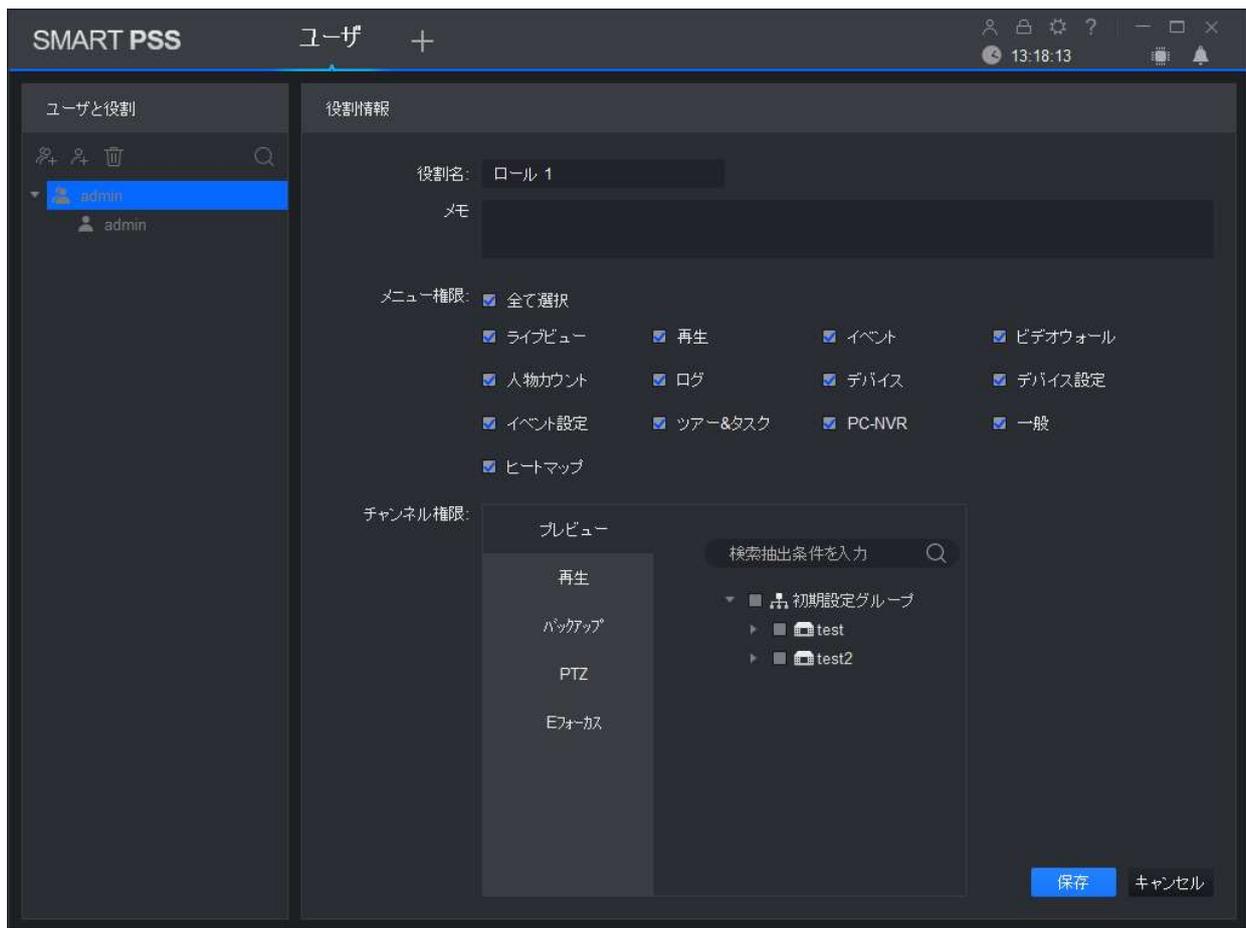


図 9-3

Step 2. ユーザーを追加する役割を選択します。図 9-4 を参照してください。

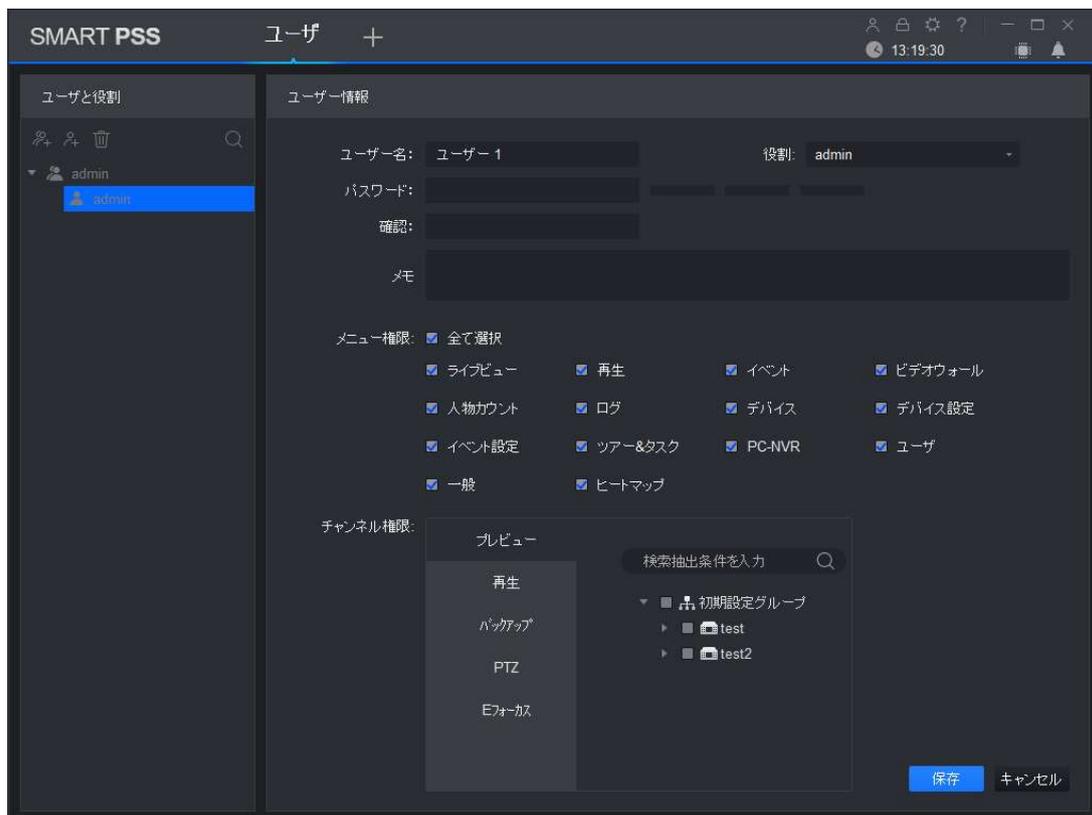


図 9-4

Step 3. ユーザーパラメータを設定するには、次の図を参照してください。

パラメーター	Note
ユーザー名	※既存で存在するユーザー名は使用できません。
役割	ユーザーが所属する役割を選択します。
パスワード	ユーザーのパスワードとパスワード確認を入力します。
確認	
メモ	ユーザー情報の説明。
メニュー権限	ユーザーが操作できるメニューの権限を選択してください。
チャンネル権限	ユーザーが操作できるチャンネルの権限を選択してください。

Step 4. [保存]をクリックします。

Note:

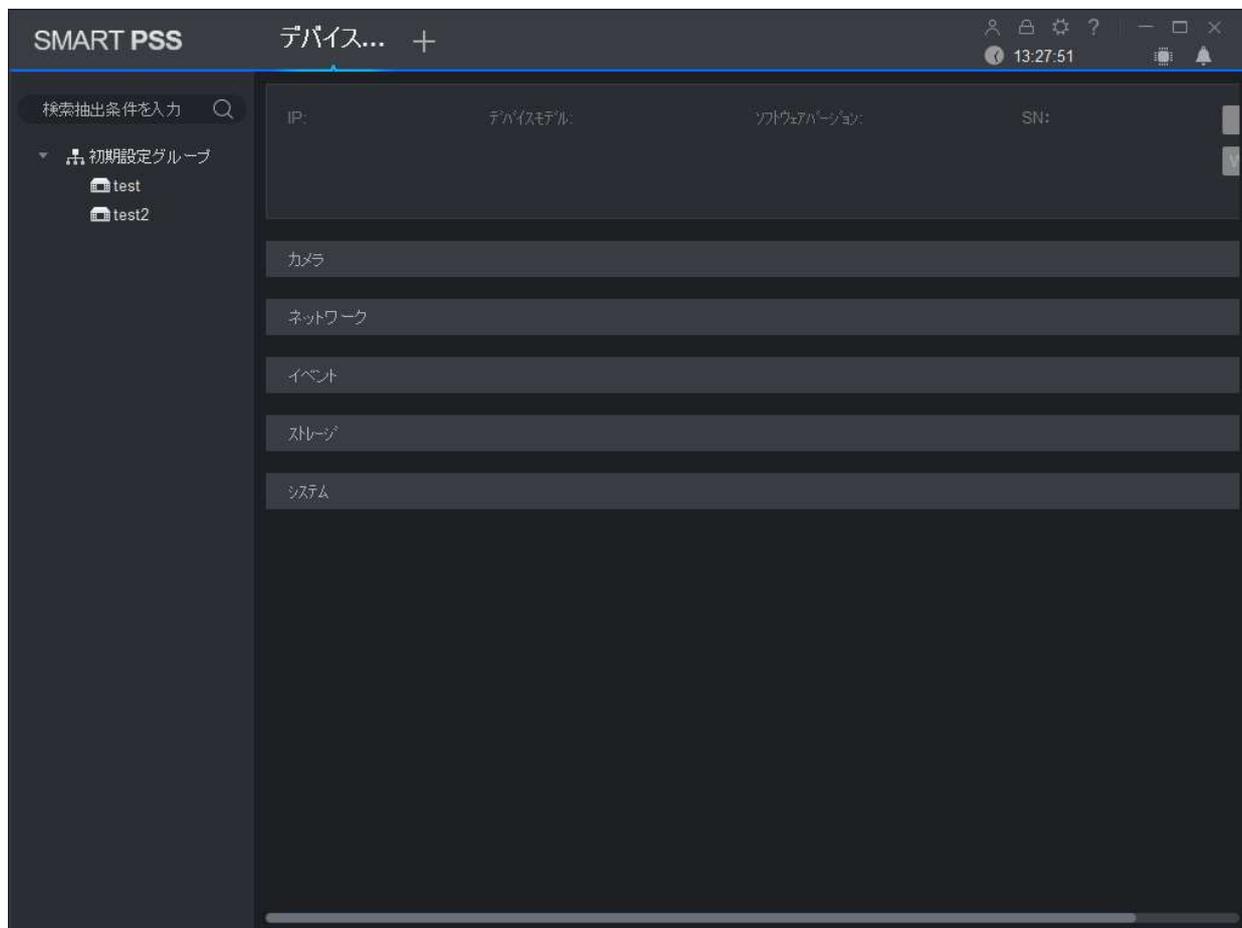
管理者には、変更または削除すべての権利があります。役割が追加された後、権限を変更したり役割を削除したりすることができます。

11.デバイス設定

ソフトウェアをアップデートしたり、WEB に接続したり、デバイスカメラ、ネットワーク、PTZ、イベント、ストレージ、システムなどを設定することができます。

[新規]タブで、[デバイス設定]をクリックします。(図 10-1 を参照)

実際のデバイスおよびマニュアルに従って、異なるパラメータを変更することができます。



57

図 10-1

No.	Task	Note
1	デバイス	デバイスを選択すると、デバイスの IP アドレス、デバイスモデル、ソフトウェアバージョン、およびシリアル番号を表示できます。
	更新	デバイスを選択し、アップグレードをクリックするとデバイスソフトウェアをアップグレードできます。
	WEB へのリンク	デバイスを選択し、WEB へのリンクをクリックするとログイン画面が表示されます。

2	カメラ	<p>デバイスを選択しカメラを開きます。</p> <ul style="list-style-type: none">● [リモートデバイス]をクリックすると、デバイスを検索して追加したり、削除したりできます。● [カメラ]をクリックすると、カメラの属性、操作、管理またはヘッドプロファイルを設定できます。● オーディオをクリックすると、オーディオコードストリーム、入力タイプ、および音量を設定できます。
---	-----	--

ネットワーク	<p>デバイスを選択し、[ネットワーク]タブを開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [TCP / IP]をクリックすると、デバイスの IP アドレスを静的、DHCP で設定できます。 ● [接続]をクリックすると、接続するデバイスの最大数と接続時に使用するポート番号を設定できます。 ● [PPPoE]をクリックすると PPPoE ユーザ名とパスワードを設定できます。 ● [DDNS]をクリックすると、デバイスと DDNS を設定できます。 ● [IP 権限]をクリックすると、ホワイトリストとブラックリストを設定できます。 ● [SMTP]をクリックすると、デバイスがアラームリンクージとアラームメッセージを設定したときにデバイスの SMTP サーバとメールボックス情報を設定できます。 ● [FTP]をクリックすると、デバイスは FTP アップロード情報と画像、設定された FTP の適切なディレクトリに画像をアップロードすることができます。 ● [複数アドレス]をクリックすると、監視ビデオマルチキャストを通じてマルチキャストアドレスとポートを設定できます。 ● [アラームセンター]をクリックすると、アラームセンターのホスト IP アドレスとタイミングログイン時間を設定できます。
PTZ	<p>デバイスを選択し、[PTZ]タブを開きます。</p> <p>PTZ をクリックすると、PTZ を設定、操作することができます。</p>
イベント	<p>デバイスを選択し、[イベント]タブを開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [映像検出]をクリックすると、モーション検出、ビデオロス検出、ビデオ改ざん検出、デフォーカス検出を設定できます。 ● [音声検知]をクリックすると、オーディオ入力と音の強度の異常を設定できます。 ● [インテリジェント分析]をクリックし、ビデオ品質診断、一般的な行動分析、顔検出、人数計算、ヒートマップを設定することができます。 ● [アラーム I / O]をクリックすると、アラーム入力とアラームリンクージ情報を設定できます。 ● [異常]をクリックすると、ストレージデバイスのエラー、IP の競合などを設定することができます。
ストレージ	<p>デバイスを選択し、ストレージを開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [スケジュール]をクリックすると、ビデオスケジュールとスナップショットスケジュールを設定できます。 ● [HDD マネージャ]をクリックすると、ローカルで設定および表示できます。デバイスに関する情報が格納されている場合は、FTP サーバを設定します。 ● [録画]をクリックすると、ビデオストリームの制御方法を設定できます。
システム	<p>デバイスを選択し、[システム]タブを開きます。</p>

パラメータ	<ul style="list-style-type: none">● [一般]をクリックすると、基本的な情報と時間を入力できます。● [PTZ]をクリックするとアナログ PTZ 情報を設定できます。● [アカウント]をクリックすると、ユーザーとユーザーグループを追加、削除できます。● [メンテナンス]をクリックすると、シリアル情報、システム構成とメンテナンス情報、およびバージョン情報の表示を構成できます。
-------	--

12. イベント設定

12.1 イベントタイプ

[新規]タブで、[イベント設定]をクリックします。（図 11-1 を参照）

クライアントはすべてのイベントタイプを表示し、デバイスによって表示される機能が異なります。

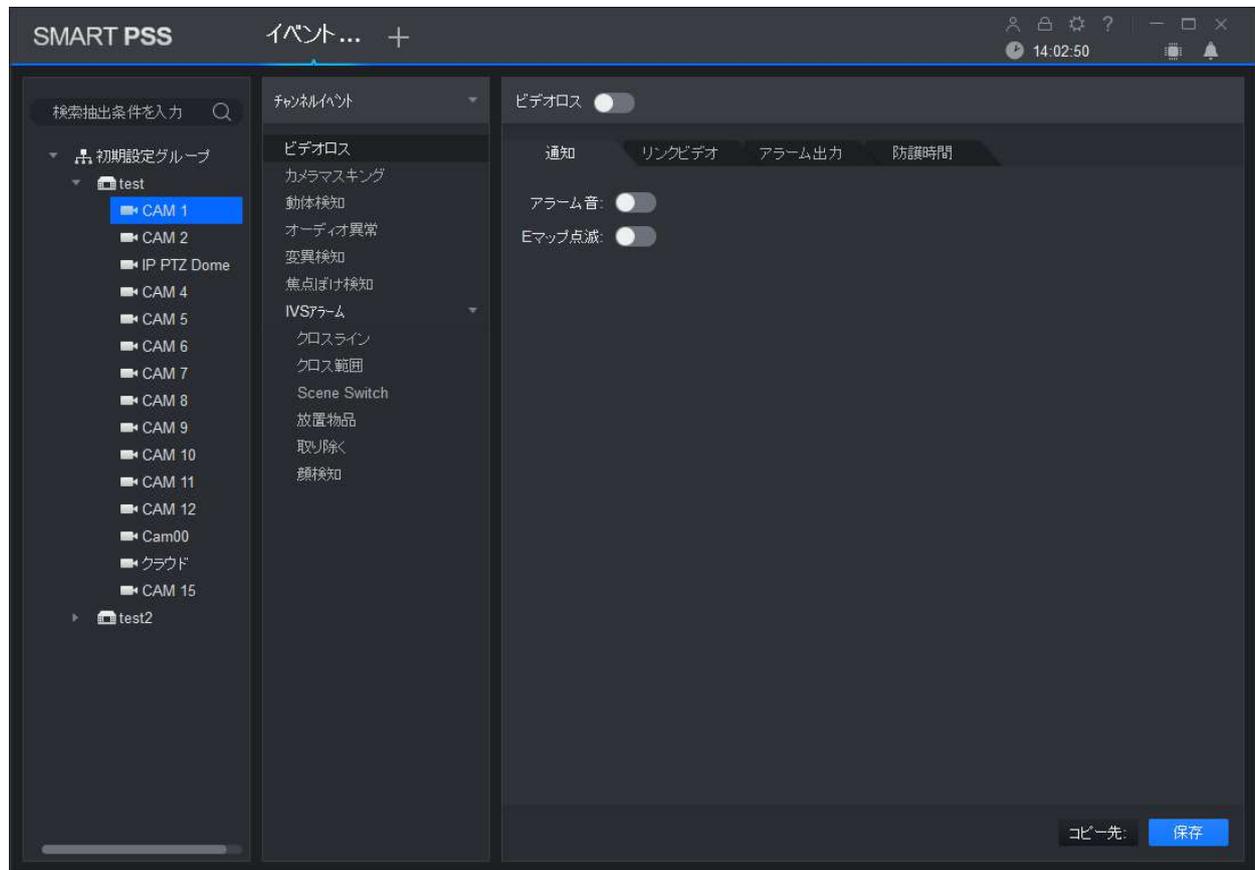


図 11-1

イベントタイプ	イベント	説明	状態
チャンネルイベント	ビデオロス	ビデオの損失を引き起こすネットワーク異常のときにイベントが生成されます。	ON/OFF
	カメラマスキング	ビデオが改ざんされたときにイベントが生成されます。	ON/OFF
	動体検知	ビデオ内で動くオブジェクトが検出されたときにイベントが生成されます。	ON/OFF

	オーディオ異常	オーディオ接続が異常なときにイベントが生成されます。	ON/OFF	
	変異検知	音が突然変化したときにイベントが生成されます。	ON/OFF	
	焦点ぼけ検知	デフォーカスが発生するとイベントが生成されます。	ON/OFF	
	IVS アラーム	クロスライン	ターゲットが設定された方向から交差すると、イベントが生成されます。	ON/OFF
		クロス範囲	オブジェクトが領域に入ったり出たりしたときにイベントが生成されるか、領域内にターゲットが表示されます。	ON/OFF
		Scene switch	シーンが変化するとイベントが生成されます。	ON/OFF
		放置物品	物が置かれてから、設定した時間を越えたときにイベントが生成されます	ON/OFF
		取り除く	ターゲットがモニタ画面から設定した時間を越えて消失したときにイベントが生成されます。	ON/OFF
		顔検知	モニター画面が人の顔を検出すると、イベントが生成されます。	ON/OFF
外部イベント	nを入力するアラーム入力 1、Nは、デバイスのアラーム入力構造によって異なります。	外部アラーム入力があるとイベントが発生します。	ON/OFF	

デバイスイベント	ディスク無し	ストレージデバイスが存在しない場合にイベントが生成されま す。	ON/OFF
	ディスクエラー	ハードディスク障害が発生した ときにイベントが生成されます。	ON/OFF
	ディスクフル	ディスクがいっぱいになるとイ ベントが生成されます。	ON/OFF
	Illegal Access	ログインパスワードを連続して 間違えるとイベントが生成され ます。	ON/OFF

12.2 イベントアラームリンク設定

12.2.1 リンクの通知

設定されたリンク通知後、イベントが発生するとアラームまたはアラームが地図上で点滅します。

Step 1. [新規]タブで、[イベント設定]をクリックします。

Step 2. デバイスをクリックし、イベントタイプを選択します。

Step 3.  スライドをオンにしてイベントをオンにし、[通知]タブをクリックします。図 11-2 を参照してください。



図 11-2

Step 4. 必要に応じて  スライドして、アラーム音や E マップ点滅を有効にします。

Step 5. [保存]をクリックします。

[コピー先]をクリックすると、このカメラの設定を他のデバイスにコピーできます。

12.2.2 リンクビデオ

対応するイベントが発生すると、対応するカメラのプレビューまたはレコードが表示されます。

Step 1. [新規]タブで、[イベント設定]をクリックします。

Step 2. デバイスをクリックし、イベントタイプを選択します。

Step 3.  スライドをクリックしてイベントを有効にし、[リンクビデオ]タブをクリックします。図 11-3 を参照してください。

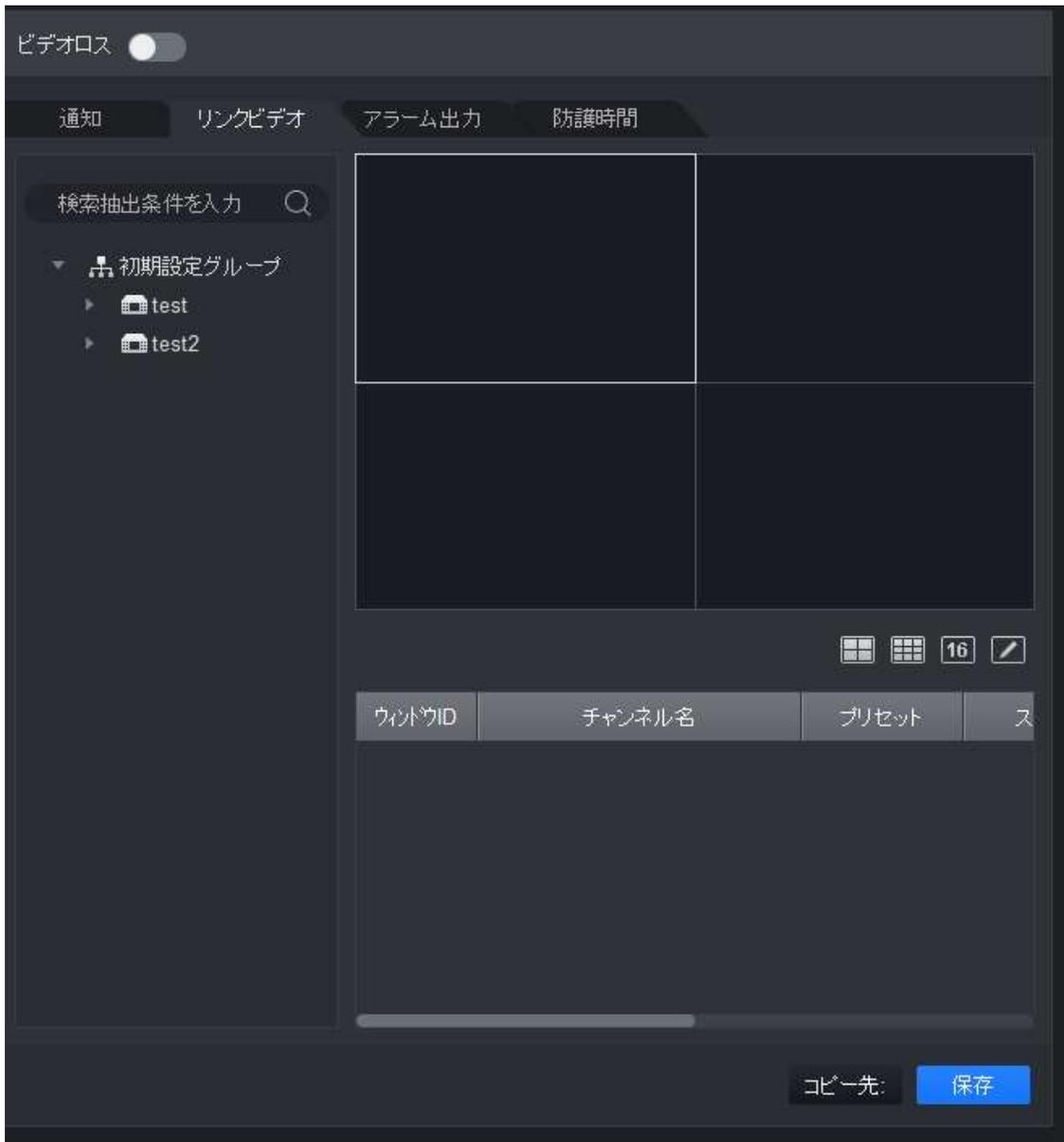


図 11-3

Step 4. ビデオウィンドウを選択し、リンクしたいカメラをダブルクリックして直接ウィンドウにドラッグします。

Note:  オンにすると、表示モードを設定できます。

Step 5. リンク先のカメラリストでは、カメラプリセット、リンクレコード、プレビューストリームの種類、イベントが発生したときに自動的にビデオを開き、レコードを有効やリンクされたレコードやプレビューの期間を設定します。

Note:  をクリックすると、カメラを削除できます。

Step 6. [保存]をクリックします。

[コピー先]をクリックすると、リンクビデオ設定を他のデバイスにコピーできます。

12.2.3 アラーム出力

アラーム出力を設定してアラームが発生すると、対応するカメラアラーム出力がリンクされます。

Step 1. [新規]タブで、[イベント設定]をクリックします。

Step 2. デバイスをクリックし、イベントタイプを選択します。

Step 3.  イベントを有効にし、[アラーム出力]タブをクリックします。図 11-4 を参照してください。

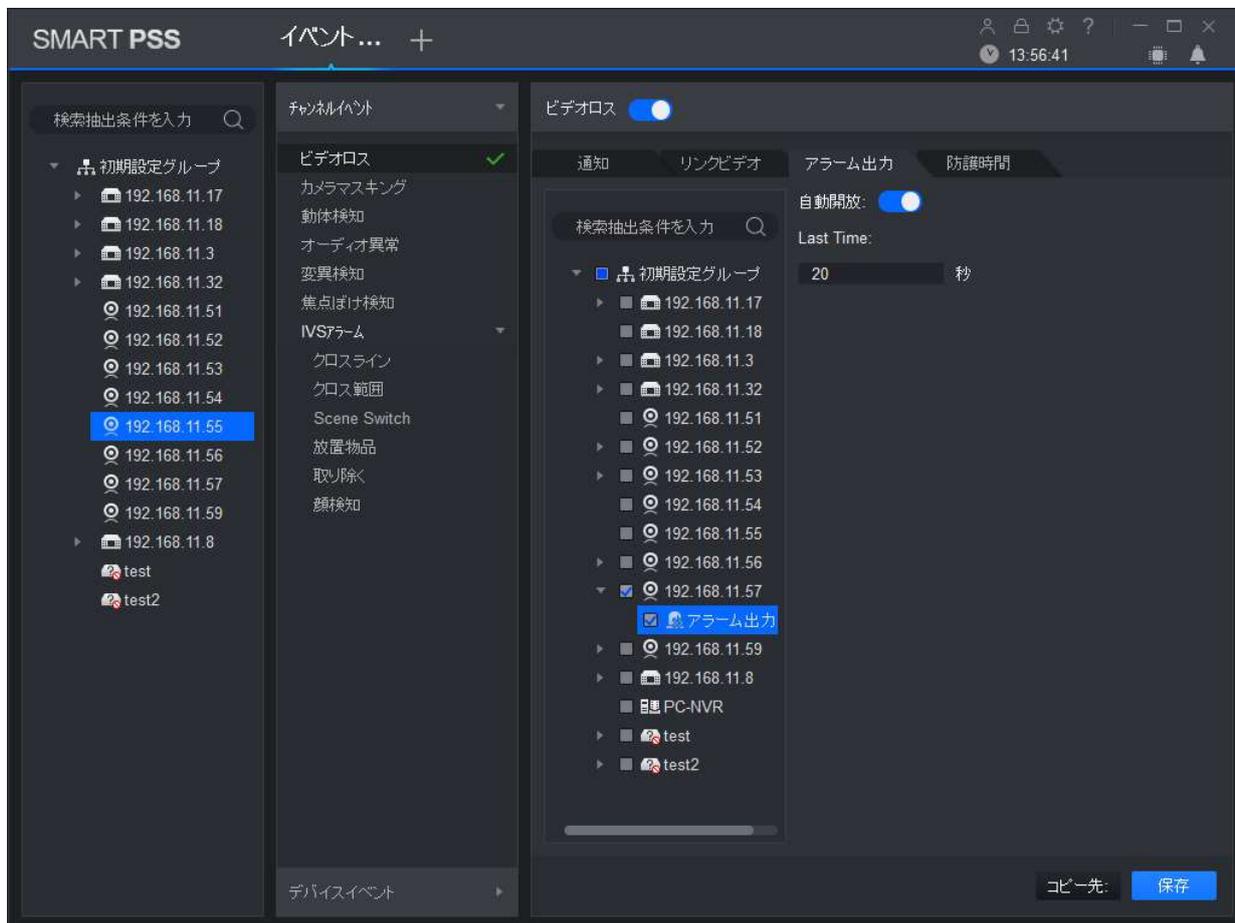


図 11-4

Step 4. リンクカメラのアラーム出力を選択し、自動開放と継続時間を設定します。

Step 5. [保存]をクリックします。

[コピー先]をクリックすると、カメラリンク設定を他のデバイスにコピーできます。

12.2.4 防護時間

イベントはデフォルトで終日設定されています。必要に応じて時間を設定できます。

Step 1. [新規]タブで、[イベント設定]をクリックします。

Step 2. デバイスをクリックし、イベントタイプを選択します。

Step 3.  スライドさせてイベントを有効にし、防護時間タブをクリックします。図 11-5 を参照してください。



図 11-5

Step 4. 対応する曜日にマウスをドラッグして削除し、時間を追加します。ポップアップボックスで時間を設定するために、毎週の曜日を  で設定することもできます。

Step 5. [保存]をクリックします。

[コピー先]をクリックすると、時間設定を他のデバイスにコピーできます。

12.3 イベントビュー

アラームイベント情報を表示したり、音声無効にしたり、リンクビデオポップアップを無効にしたり、イベント情報のリフレッシュを一時停止することができます。

トップページから  をクリックするか、または[新規]タブでイベントを選択します（図 11-6 を参照）。

- イベントインターフェイスでは、リアルタイムのアラーム情報を表示したり、最新のメッセージを最大 1000 件表示したり、履歴アラームメッセージをログで検索したりできます（7 章を参照）。
- [音声無効]をチェックすると、イベントのアラーム音が無効になります。
- [リンクビデオポップアップ抑止]をチェックするとポップアップが停止します。
- [リフレッシュを停止]をチェックするとイベントのリフレッシュが停止します。
- イベントを選択し操作をクリックすると、イベントに説明を追加できます。
- イベントの処理やイベントの確認後、イベントのステータスを変更することはできません。

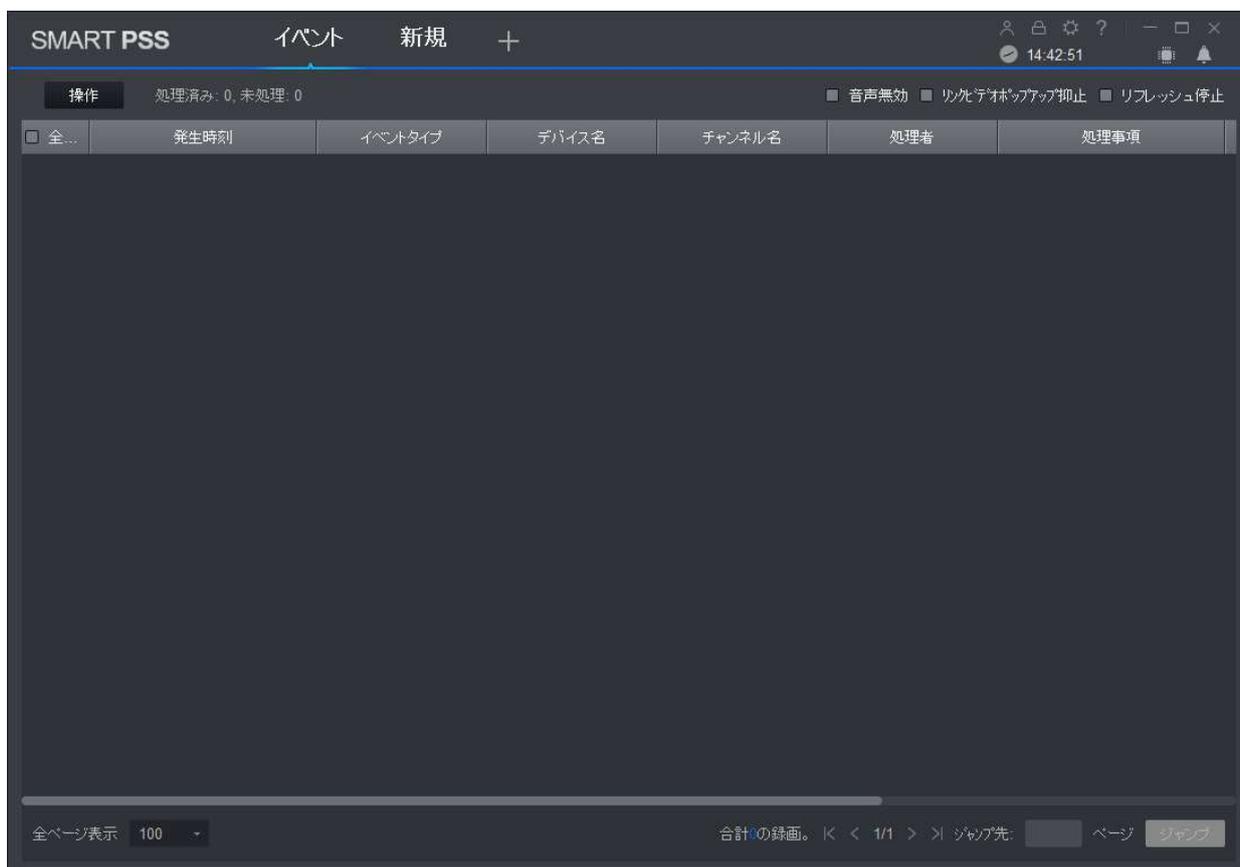


図 11-6

13.人数カウント

人数の結果、時間とチャンネルのコントラストを検索してエクスポートし、人数のデータをエクスポートすることができます。

Condition

- 入口/出口統計機能を有効にする。
- 入退室統計データが装置内に存在する。

Steps

Step 1. [新規]タブで、[人物カウント]をクリックします。図 13-1 を参照してください。

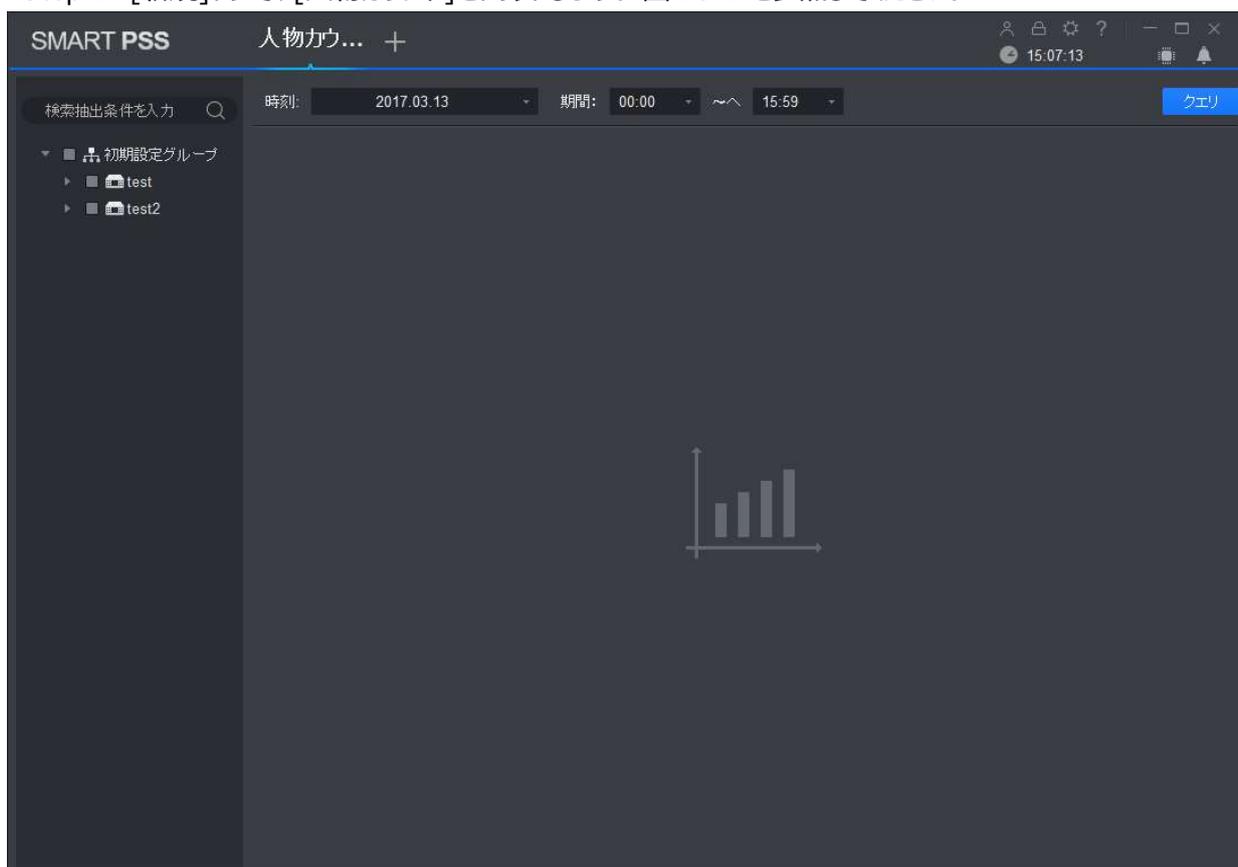


図 13-1

Step 2. 人数データでチャンネルを選択し、検索の時間と期間を設定します。

- 人数データを日付、時間、年、月ごとに検索することができます。
- 複数のチャンネルを選択すると、検索期間中のチャンネルデータを検索します

Step 3. [検索]をクリックします。

指定した期間の人数が表示されます（図 13-2 を参照）。

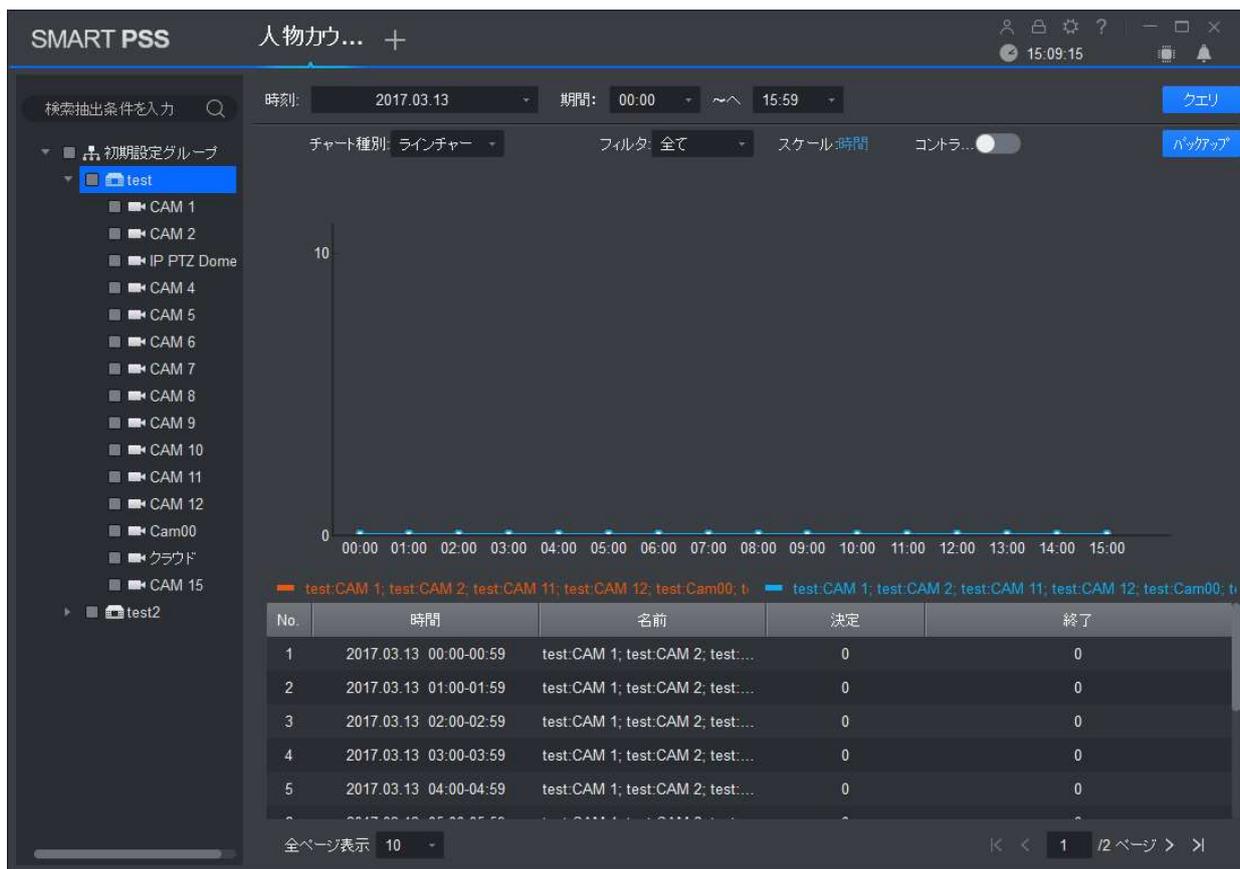


図 13-2

Step 4. 人数を比較対照して結果を数える。

- a) 統計図形タイプを選択し、ex を Enter または Exit に設定し、 ドラッグするとコントラストを有効にします。図 13-3 を参照してください。

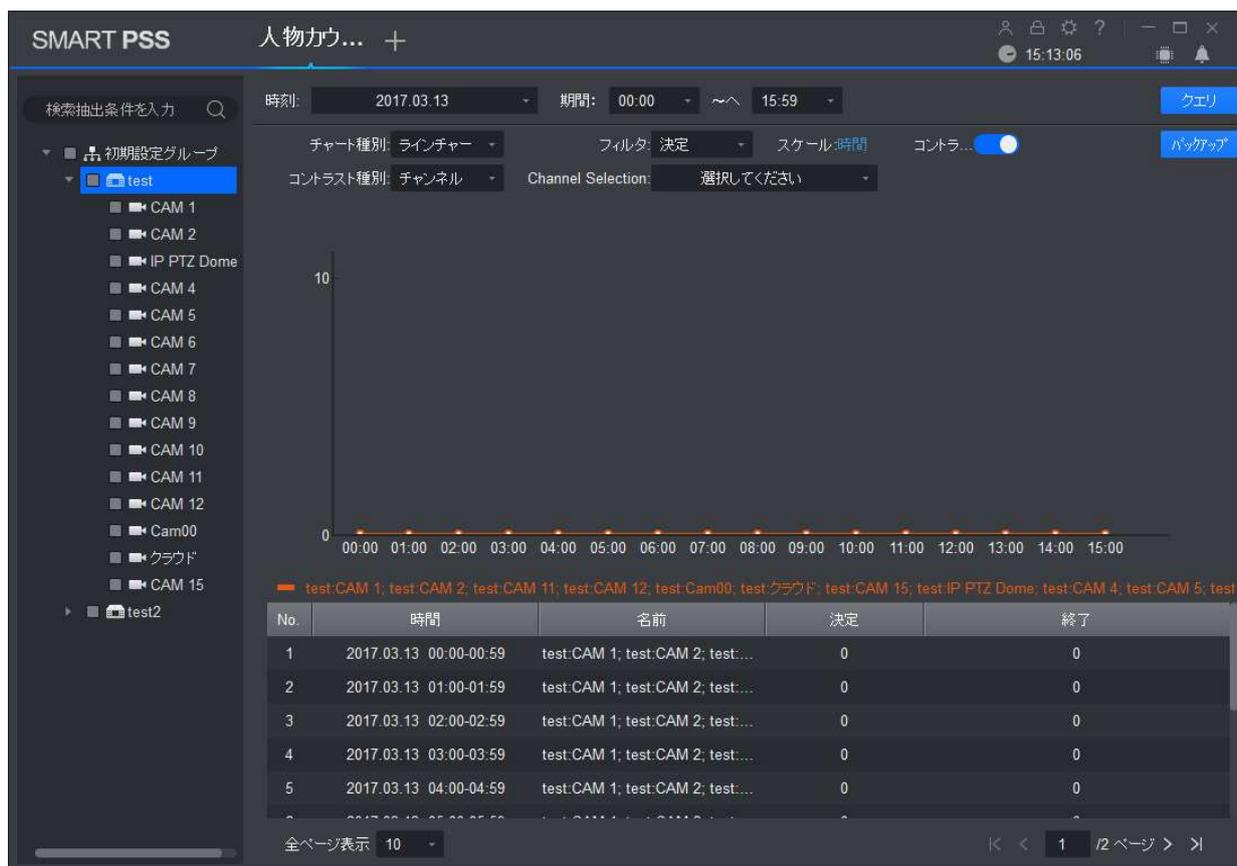


図 13-3

- b) コントラストタイプをチャンネルに設定し、コントラストのチャンネルを選択します。これは、同じ期間内の異なるチャンネルの人数結果を対照します。コントラストタイプを[時間]に設定し、コントラストの時間を選択します。これは、同じチャンネルの異なる期間の人数結果を比較します。

14.ヒートマップ

デバイスモニターイメージでオブジェクト移動密度を検索することができます。

Condition

- デバイス設定でヒートマップ統計を有効にしてください。
- ヒートマップデータがデバイス内に存在していることが条件です。

Steps

Step 1. [新規]タブで、[ヒートマップ]をクリックします。図 14-1 を参照してください。

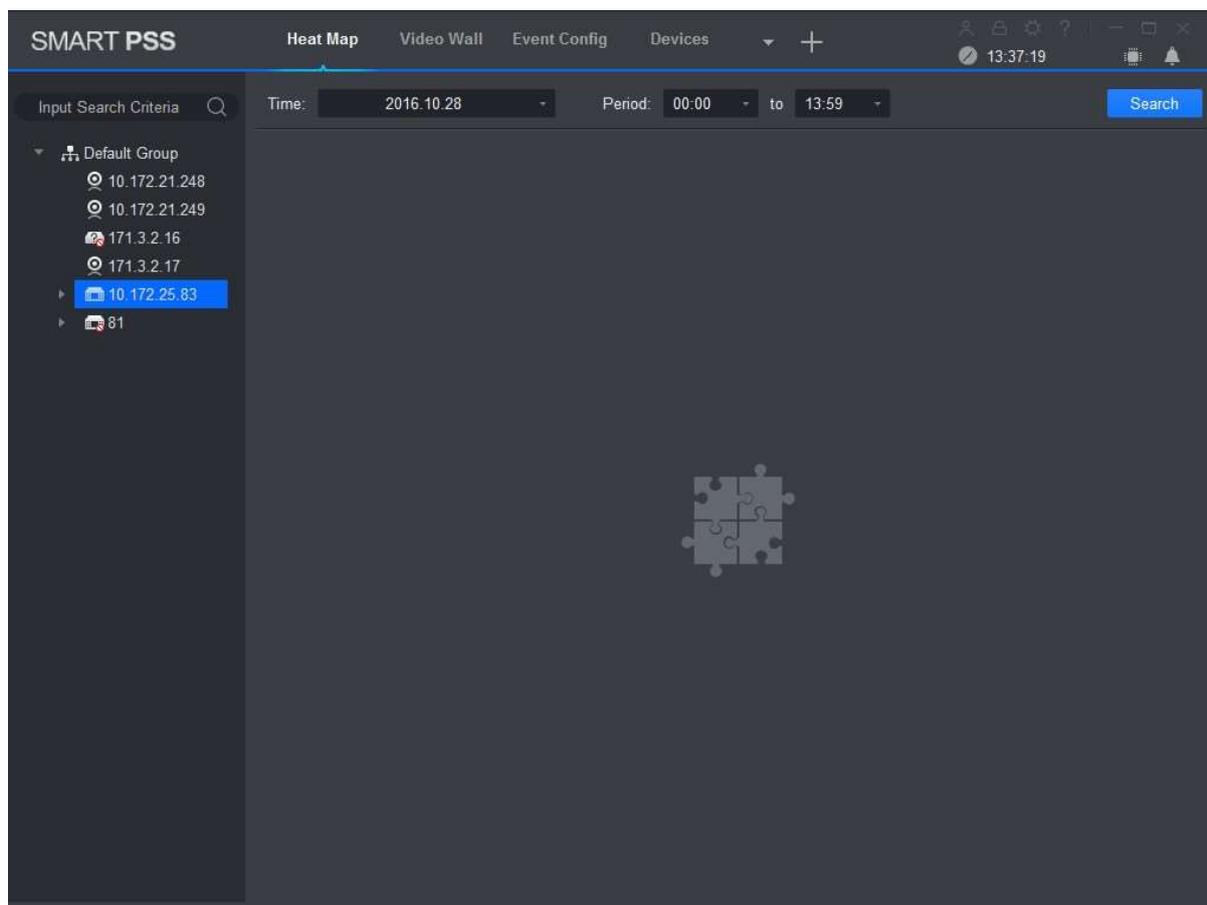


図 14-1

Step 2.ヒートマップデータ機能を持つカメラを選択し、検索時間と期間を設定します。

Note: ヒートマップデータは、日付、期間、または曜日によって検索できます。

Step 3. [クエリ]をクリックします。設定した期間のオブジェクト移動累積密度結果を検出します。
[エクスポート]をクリックしてヒートマップの日付をエクスポートします。

15.PC-NVR

PC-NVR を追加すると、ディスクの管理、チャンネルの管理、録画プランの設定、バージョンの表示ができます。

Condition

- PC-NVR がインストールされ動作していることが条件です。
- PV-NVR を追加するには、第 3 章を参照してください。

15.1 ディスクマネージャー

Step 1. [新規]タブで、[PC-NVR]をクリックします。

Step 2. [HDD]タブを選択します（図 15-1 を参照）。

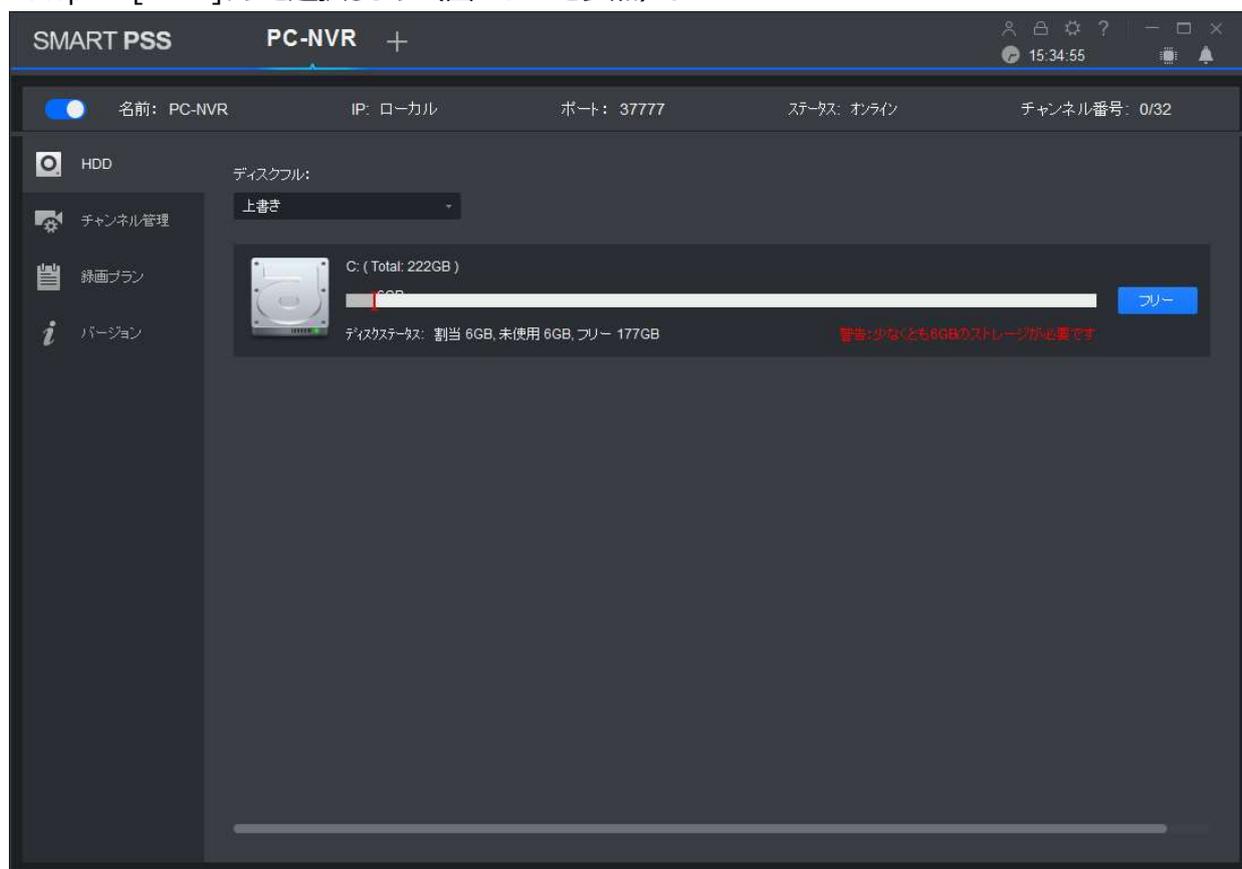


図 15-1

Step 3. HDD が一杯になったら録画プランを選択し、ディスクスペースを設定して、[フリー]をクリックします。情報ボックスがポップアップするので[OK]をクリックします。

警告：

ディスクスペースを再割り当てすると、システムはディスク上のすべてのレコードファイルを削除しますので注意してください。

15.2 チャンネルマネージメント

PC-NVR の記録計画をパスするためのチャンネル情報を設定します。

Step 1. [新規]タブで、[PC-NVR]をクリックします。

Step 2. [チャンネル管理]タブを選択します（図 15-2 を参照）。

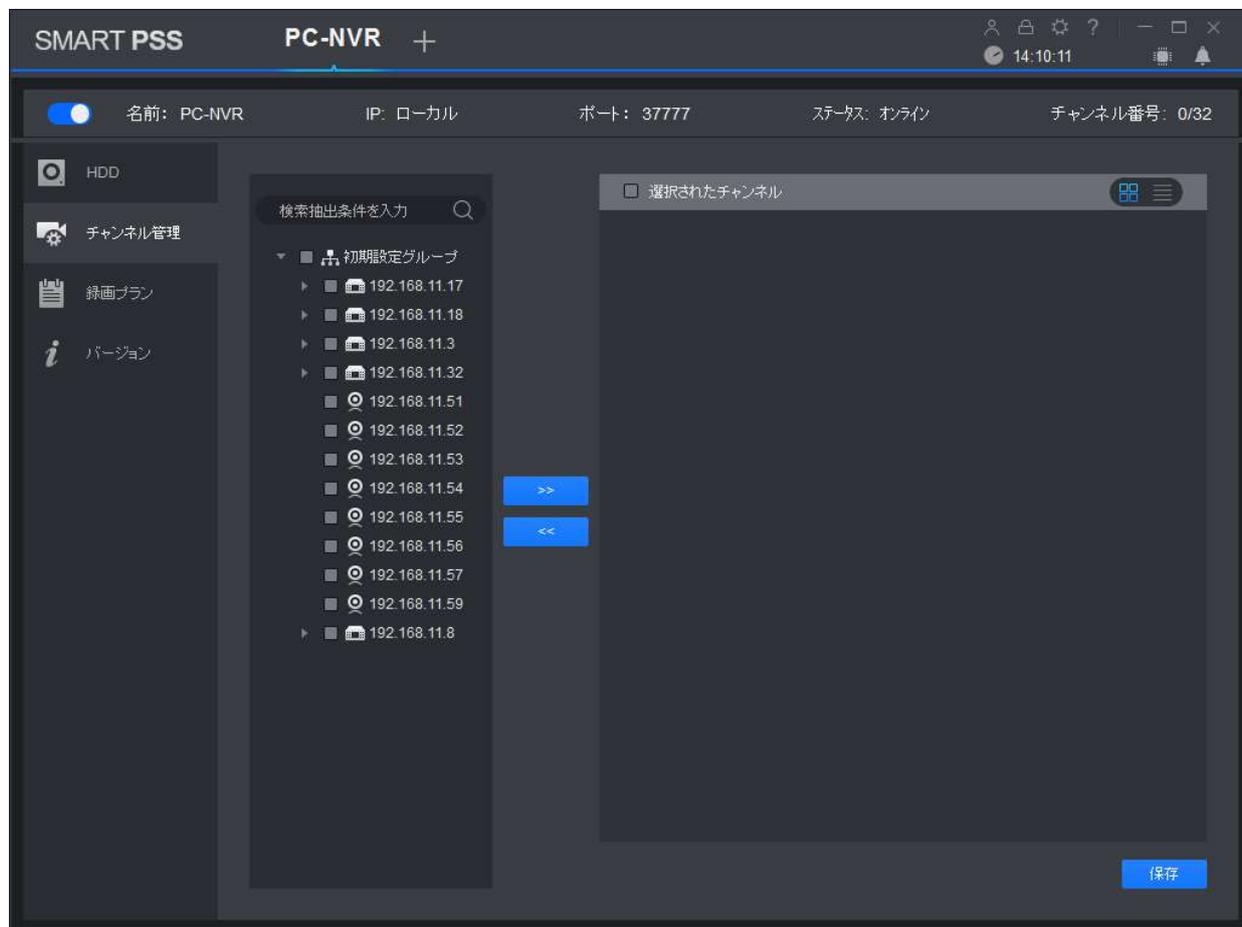


図 15-2

Step 3. デバイスリストのデバイスチャンネルを選択し、をクリックします。

選択されたデバイスチャンネルを右側のリストに追加します。

Note:

- サムネイルで表示する場合はをクリックして、デバイスチャンネルを一覧で表示する場合はをクリックします。
- 不要なデバイスチャンネルを削除する場合は、デバイスチャンネルのチェックボックスをオンにするか、または選択されたチャンネルをにチェックをしてすべてのチャンネルを選択し、をクリックして削除します。

Step 4. [保存]をクリックします。

15.3 録画プラン

選択したチャンネルについて、録画スケジュール、モーション検出、アラーム、MD&アラーム、またはスマート録画プランを設定します。

Step 1. [新規]タブで、[PC-NVR]をクリックします。

Step 2. [録画プラン]タブを選択します。図 15-3 を参照してください。

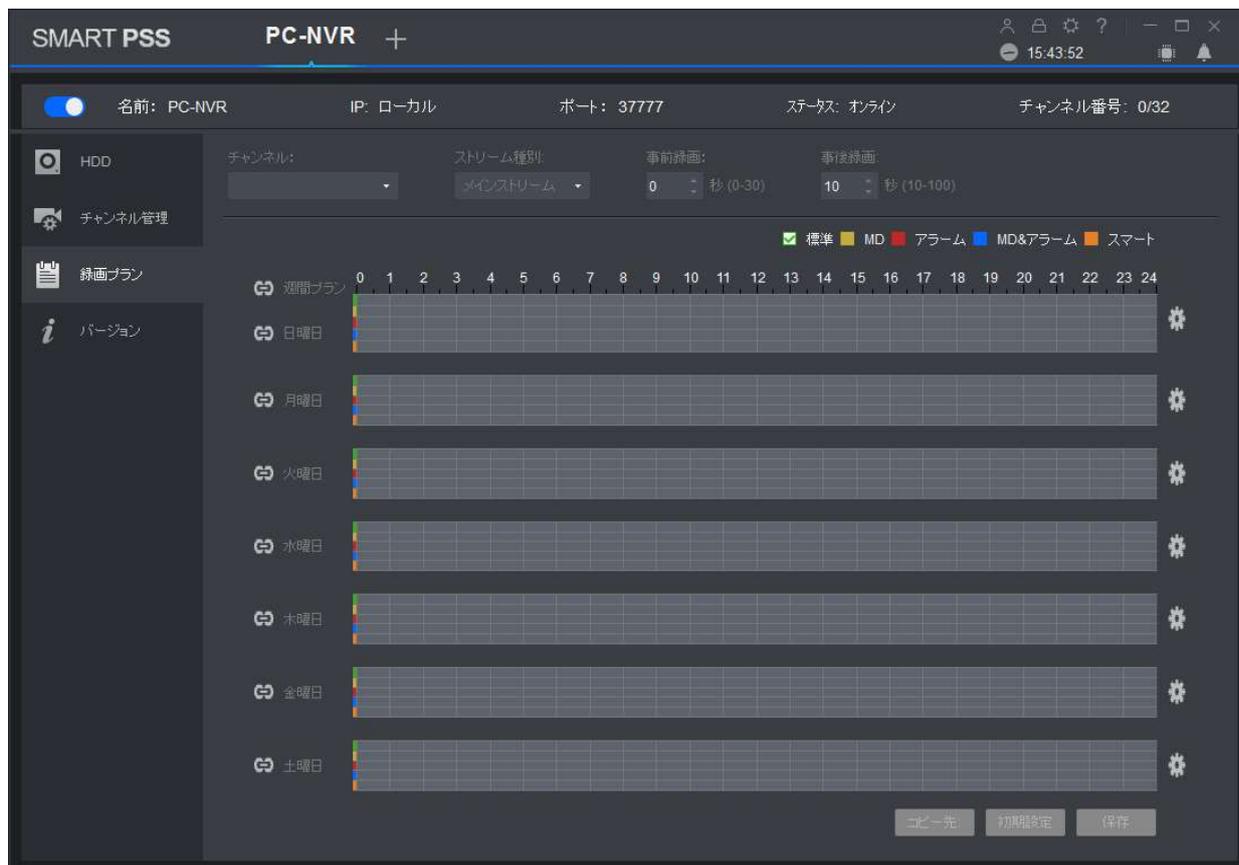


図 15-3

Step 3. 録画プランを設定するチャンネルを選択し、ストリームタイプを選択し、録画前の時間と録画時間を設定します。

Step 4. レコードタイプをチェックし、対応する曜日のバーでレコード時間を選択します。

Note: 週のバーの各曜日の隣の  をクリックし、ポップアップボックスでレコードタイプと期間を設定できます。

Step 5. [保存]をクリックします。

Note:

- [コピー先]をクリックし、デバイスチャンネルをチェックすると、このチャンネルのレコードプランを他のデバイスチャンネルにコピーできます。
- [初期設定]をクリックすると、デバイスチャンネルレコードプランのデフォルトステータスが復元されます。

16.バージョン情報

PC-NVR の名前、ストレージ番号、およびバージョンを表示できます。

Step 1. [新規]タブで、[PC-NVR]をクリックします。

Step 2. バージョンタブを選択します（図 15-4 を参照）。

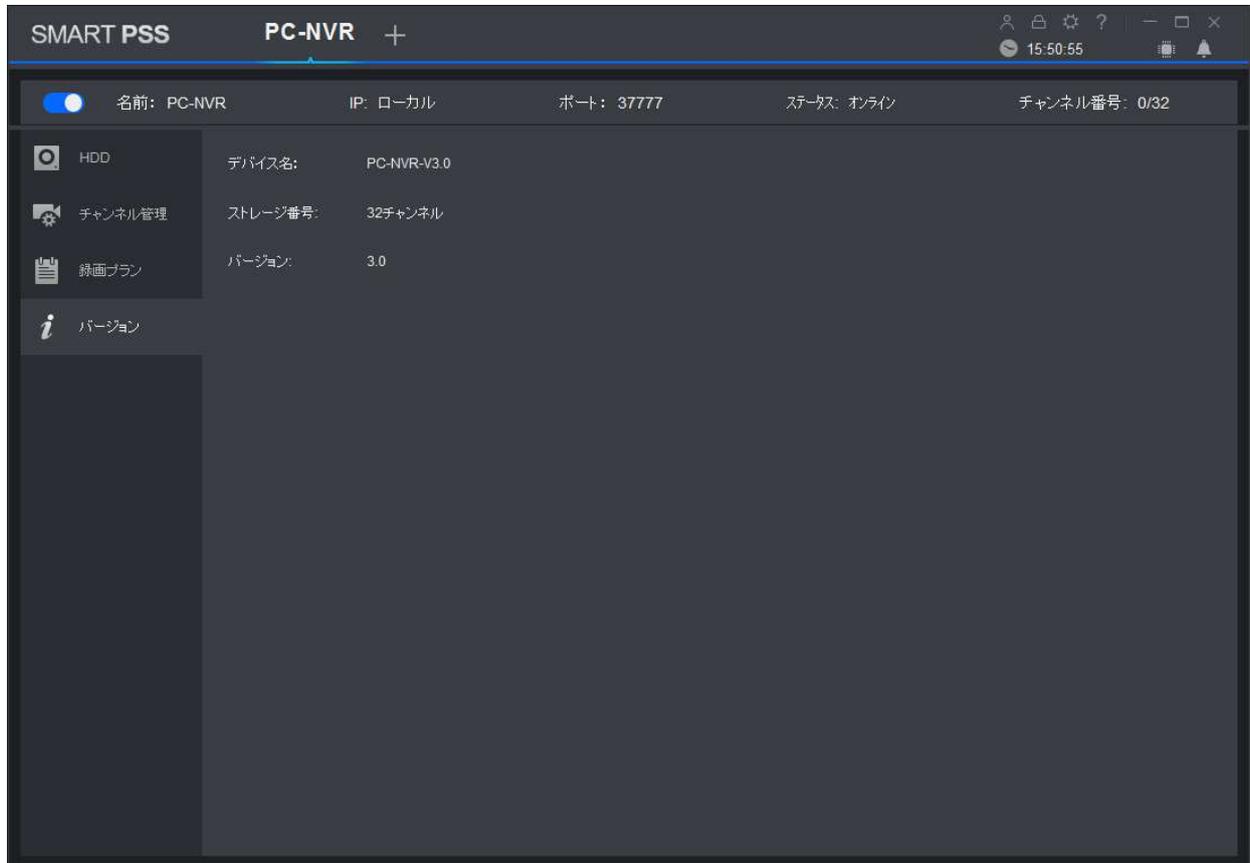


図 15-4

16.1 ポート変更

Step 1. PC の右下隅  をクリックして、「PC-NVR 設定」を選択します。図 15-5 を参照してください。

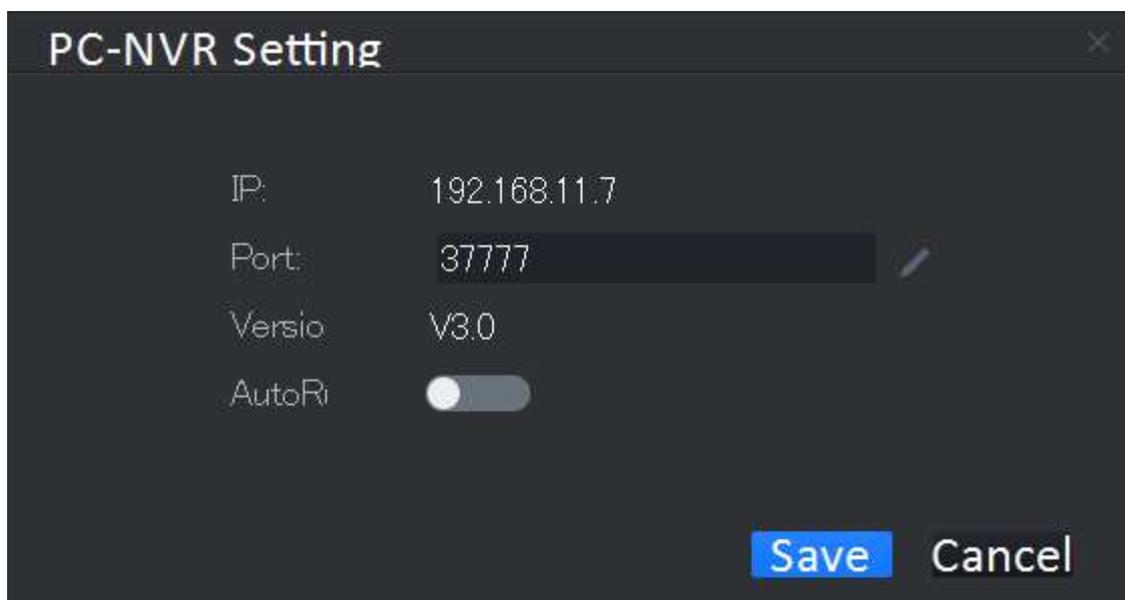


図 15-5

Step 2. をクリックし、設定したいポート番号を入力します。

自動オンを有効にするために  をスライドすると PC の起動後、自動的に PC-NVR がオンになります。

Step 3. [保存]をクリックします。

16.2 パスワード変更

Step 1. PC の右下隅  をクリックし、パスワード設定を選択します。図 15-6 を参照してください。

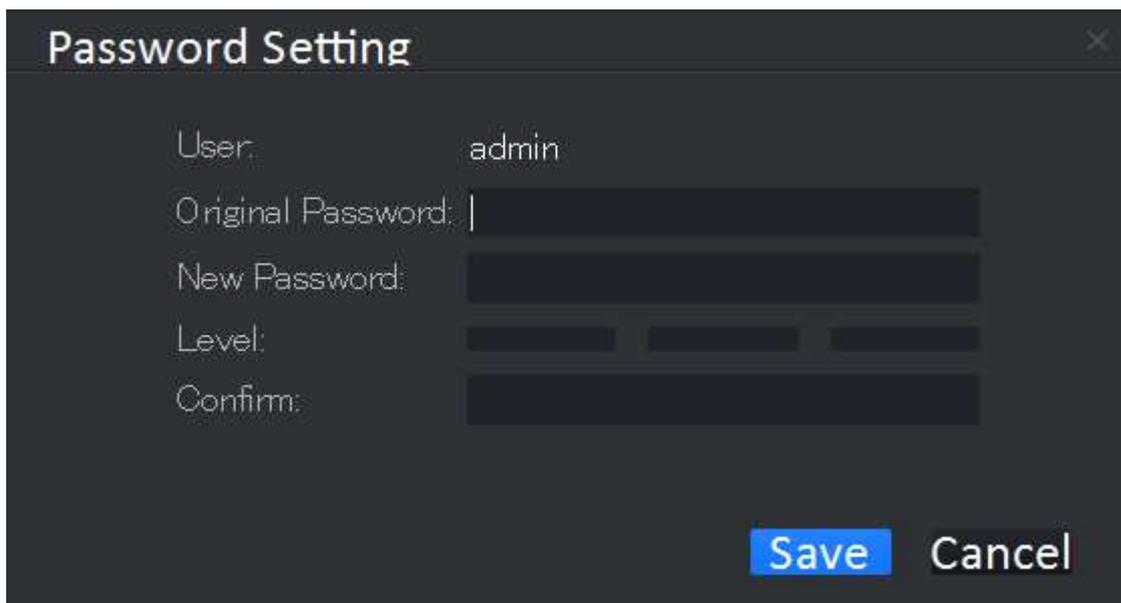


図 15-6

Step 2. 元のパスワードを入力し、新しいパスワードと確認用の新しいパスワードを入力します。

Step 3. [保存]をクリックします。

Note:

- このマニュアルは参考用です。Ver によりユーザーインターフェイスにわずかな違いがあります。
- ここに記載されているすべてのデザインおよびソフトウェアは、事前の通知なしに変更されることがあります。
- すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者の財産です。
- 詳細については当社の Web サイトを参照するか、サービスエンジニアにお問い合わせください。